

2025年4月

富山市の姉妹友好都市

モジ・ダス・クルーゼス市 (S54.11.8 提携)

MOGI DAS CRUZES, SAO PAULO, BRASIL



秦皇島市 (S56. 5.7 締結)

QINHUANGDAO, HEBEI, CHINA



ダーラム市 (H元. 6.13 提携)

DURHAM, NORTH CAROLINA, USA



ダボ・リージョナル・カウンスル (H4.8.24 提携)

DUBBO REGIONAL COUNCIL, NEW SOUTH WALES, AUSTRALIA



富山市

CITY OF TOYAMA

目 次

モジ・ダス・クルーゼス市（ブラジル）について

1	提 携 年 月 日	1
2	提 携 経 過	1
3	モジ・ダス・クルーゼス市の概要	1～3
4	盟 約 書	4
5	交 流 事 業 経 過 ・ 市 の 位 置 図	5～10

秦皇島市（中国）について

1	締 結 年 月 日	11
2	締 結 経 過	11
3	秦 皇 島 市 の 概 要	11～13
4	議 定 書	14
5	交 流 事 業 経 過 ・ 市 の 位 置 図	15～27

ダーラム市（アメリカ）について

1	提 携 年 月 日	28
2	提 携 経 過	28
3	ダ ー ラ ム 市 の 概 要	28～31
4	盟 約 書	32
5	交 流 事 業 経 過 ・ 市 の 位 置 図	33～40

ダボ・リージョナル・カウンシル（オーストラリア）について

1	提 携 年 月 日	41
2	大 沢 野 町 と 提 携 経 過	41
3	双 方 の 合 併 の 経 緯	41
4	ダボ・リージョナル・カウンシルの概要	42～45
5	盟 約 書	46
6	交 流 事 業 経 過 ・ 市 の 位 置 図	47～50

モジ・ダス・クルーゼス市（ブラジル）

1. 提携年月日 1979（昭和54）年11月8日
（姉妹都市提携調印の日）

2. 提携経過

富山市は、昭和54年1月当市に工場を置く（株）不二越社長（当時）高松俊雄氏に、日系人の多いブラジル連邦共和国で（株）不二越傍系会社ナチ・ブラジル社が操業しているサンパウロ州モジ・ダス・クルーゼス市との姉妹都市提携斡旋を依頼した。以後（株）不二越と当時の現地ナチ・ブラジル社長丸山角三郎氏の仲介により姉妹都市提携の気運が急速に高まった。

同年10月11日富山市制施行90周年記念式典に、モジ・ダス・クルーゼス市会議議長と議員の2名が来富、11月8日には、モジ・ダス・クルーゼス市において、ブラジル県人会長等立ち会いのもと、モジ・ダス・クルーゼス・富山両市長との間で姉妹都市提携盟約書に調印、両市は友好親善の発展に努力することを約束した。

3. モジ・ダス・クルーゼス市の概要

（1）沿革

モジ・ダス・クルーゼス市は、ブラジルのサンパウロ州内東南に位置し、人口約45万人で、サンパウロ州内ではサンパウロ市に次ぐ第2の日系人集団地である。

サンパウロ市から50km（車で40分）、海拔800mの緩やかな丘陵地帯にあって、緑と山に囲まれた美しい活気のある高原の商工都市である同市は、石畳の通りと古い街並みが歴史を物語るヨーロッパ風の落ち着いた感じの町でもある。

モジ市は、1560年にポルトガルの探検家ブラス・クーバスがM´BOI-BYに最初に駐屯地を置いたときから始まる。ブラス・クーバスはポルトガル国王の命をうけ、金鉱脈の開発に狂奔した。本拠地をサントスにおいたが、植民地設置のため部下とともに奥地の实地調査を敢行した。そして、現在モジ市を流れるRio Tiete（チエテ川）にたどりついた。1611年8月17日、ヴィーラ・サンターナ・モジ・ミリンと命名され、以後9月1日が創立記念日として制定された。

そして1662年、モジ・ダス・クルーゼス市と改名、1875年のサンパウロ間との鉄道敷設によって急激な発達を遂げた。

以来、農業を中心として発達したが、現在では州内の工業・商業・学園都市としての地位を占めている。

（2）位置・気候

モジ・ダス・クルーゼス市は、サンパウロ州の東南、南緯23度31分にあり、サンパウロ市から鉄道で49km、リオ・デ・ジャネイロから385kmに位置する。地形は緩やかな丘陵地で、標高は平均743m。市を東西に横断するチエテ川が源を海岸山脈に発し、サンパウロ市の給水池として有名である。

モジ市の気候は、温湿気候で平均気温は24℃。12月～2月の3カ月間が暑く、雨期にあたる。1日のうちに四季があるといわれ、日中は暑くとも朝晩には冷えることが多い。湿度は年間を通じて85%程度である。

(3) 産業・経済

モジ・ダス・クルーゼス市発展の基幹産業は農業であった。野菜・果樹・など農産物の集散地として発展しており、サンパウロ市場のみならずリオ・デ・ジャネイロ市民の台所をあずかる重要な供給地である。

また、ナチ・ブラジル、ゼネラル・モーターズ、NGK等の日系企業を含む約400社があり、水利と電力に恵まれた、機械・金属・鉄鋼・紡績・化学・紙・陶器などの工場が多い。そして、このような農業・工業に支えられて各銀行の支店も数多く、農機具販売店・スーパーマーケット・サービス業など商業も活発である。

(4) 教育・文化

市内には、モジ・ダス・クルーゼス総合大学2校、公立学校217校、図書館・博物館・美術館があり、市立教育網で注目されているのは全日制学校プログラムで、普通の学習以外にスポーツ・音楽・美術活動の外、公民館教育まで参加します。ブラジル国内でも教育部門に力を入れている15都市の一つで学園都市としても発展している。

また、サッカーをはじめとするスポーツも盛んである。そして、人口の約15%が日系人である。

(5) 市政

市長及び市議会議員の任期は4年。

市長・副市長各1名、市議会議員は21名である。

・市 長

マーラ・ベルタイオリ

Mara Bertaiolli (2025年1月1日就任)

・副 市 長

テオ・クサティス

Téo Cusatis

★ モジ・ダス・クルーゼス市 (サンパウロ州)

他の姉妹都市：

関市（日） 1969.5.20

トゥルネー（ベルギー）

位 置：	西経46度、南緯23度	大 学：	2校
人 口：	約456,000人	高 等 高 校：	37校
面 積：	721 km ²	語 学 学 校：	24校
平 均 気 温：	24℃	特 別 施 設：	5校
平均相対湿度：	85%	養 護 施 設：	1校
工 業：	347社	小 学 校：	111校
上水道普及率：	97.5%	短 期 校：	10校
下水道普及率：	85%	幼 稚 園：	58校
		病 院：	7箇所
		保 健 所：	28箇所
		図 書 館 ・ 会 館：	7箇所

4. 盟約書

日本国富山県富山市は、ブラジル連邦共和国サンパウロ州モジ・ダス・クルーゼス市と相互に文化・教育・経済・産業の交流を図り、両市の友好親善を深めるとともに世界の平和と繁栄に貢献することを念願し、ここに両市が姉妹都市として提携することを宣言する。

モジ・ダス・クルーゼス市内



5. モジ市との姉妹都市交流事業経過

年 度	概 要	
昭和54年度 (1979年)	1 ブラジル映画のタペ 2 「市制90周年式典モジ市代表团」の来富 酒井忠男モジ市議長 一行3名 3 ブラジル絵本展示 4 「富山市親善訪問団」のモジ市訪問及び姉妹都市 提携調印式 改井市長、山口議長 一行6名 5 富山・モジ両市の児童生徒作品交換 6 ラテン・フェスティバル（富山県南米協会主催） においてモジ市を紹介	10月9日 於：市公会堂 10月10日～12日 11月4日～11日 於：図書館 11月5日～18日 11月8日 於：モジ市 12月 S55年3月27日～31日 於：大和百貨店
昭和55年度 (1980年)	1 富山・モジ両市の児童生徒作品交換 2 「富山市親善訪問団」の派遣 坂田収入役、成田副議長等 一行3名 3 富山市紹介カラーパネル写真の送付	12月 S56年1月9日～20日 モジ市訪問（1月12日） 3月
昭和56年度 (1981年)	1 「モジ市親善訪問団」の来富 北口勝治モジ市姉妹都市委員会会長 一行11名 2 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	3月16日～18日 12月
昭和57年度 (1982年)	1 姉妹都市モジ市資料展示コーナー設置 2 「モジ市親善訪問団」の来富 アルバロ・カンポス・カルネイロ副市長、市議会議員 一行18名 3 「富山市南米産業視察団」の派遣 武内宗八武内プレス工業社長 一行12名 4 第1回姉妹友好都市子供の作品展 5 ポルトガル語版富山市勢要覧送付 6 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	5月5日 於：産業奨励館 4月11日～14日 8月20日～29日 モジ市訪問（8月23日） 9月26日～27日 於：産業奨励館 12月 12月
昭和58年度 (1983年)	1 置県100年事業海外移住県人招聘者の富山市訪問 栄平三アルベンチン富山県人会長 一行27名（17歳、内モジ市民2名） 2 ブラジル展（在日ブラジル大使館、日本貿易振興会 主催）においてモジ市を紹介 3 第2回姉妹友好都市子供の作品展 4 置県100年記念「富山県南米親善訪問団」の派遣 塩谷市長、西森議長 一行5名 5 婦人と青少年の国際交流展（婦人と青少年の国際 交流の集い実行委主催）においてモジ市を紹介 6 とやま国際貿易展（富山新聞、日本貿易振興会 主催）においてモジ市を紹介 7 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	4月10日～ 5月27日 6月22日～26日 9月17日～18日 於：産業奨励館 10月12日～21日 モジ市訪問（10月18日～19日） 10月22日～25日 於：県民会館 11月2日～6日 於：産業展示館 12月

年 度	概 要	
昭和 5 8 年度	8 モジ・ダス・クルーゼス市総合運動場建設用土地 購入費補助金交付(1,200 万円) 市職員 1 名派遣 9 モジ・ダス・クルーゼス市から珍獣カピバラ 1 つがいを受入	1 月 2 6 日～2 月 4 日 地権委議確認 S.59 年 1 月 30 日 3 月 2 4 日 於：ファミリーパーク
昭和 5 9 年度 (1984 年)	1 「モジ市親善訪問団」の来富 猪狩甲ーモジ文協理事 一行 4 名 2 とやまトレードフェア（富山新聞、日本貿易振興会） においてモジ市を紹介 3 第 3 回姉妹友好都市子供の作品展 4 モジ・ダス・クルーゼス市からカピバラ雄 1 頭受入 5 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	4 月 2 6 日～2 7 日 6 月 2 8 日～7 月 1 日 於：産業展示館 9 月 1 7 日～1 8 日 於：産業奨励館 1 0 月 6 日於：ファミリーパーク 1 2 月
昭和 6 0 年度 (1985 年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス市親善使節団」の来富 ウオルテル・アキノ・デ・オリベイラ副市長、市議会議員 一行 2 2 名 2 “とやまトレードフェア’ 85”（富山新聞日本貿易 振興会）においてモジ市を紹介 3 「富山県・サンパウロ州友好県州締結調印団」の派遣 安田収入役が同行 4 第 4 回姉妹友好都市子供の作品展 5 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	4 月 1 8 日～2 1 日 6 月 2 8 日～7 月 1 日 於：産業展示館 7 月 1 4 日～3 1 日 モジ市訪問（7 月 19 日） 9 月 2 8 日～2 9 日 於：産業奨励館 1 2 月
昭和 6 1 年度 (1986 年)	1 モジ・ダス・クルーゼス市の困窮家庭へ衣類 2 4 万 点を寄贈 2 “とやまトレードフェア’ 86”（富山新聞日本貿易 振興会）においてモジ市を紹介 3 第 5 回姉妹友好都市子供の作品展 4 「モジ市親善訪問団」の来富 アントニオ・カルロス・マッシャート・デシエーラモジ市長 一行 4 名 5 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	7 月 2 6 日 (ブラジル・サントス港到着) 6 月 2 6 日～2 9 日 於：産業展示館 9 月 2 0 日～2 1 日 於：産業奨励館 1 0 月 7 日～1 0 日 1 2 月
昭和 6 2 年度 (1987 年)	1 “とやまトレードフェア’ 87”（富山新聞日本貿易 振興会）においてモジ市を紹介 2 第 6 回姉妹友好都市子供の作品展 3 「第 3 アリアンサ富山村開村 6 0 周年記念富山県 南米親善訪問団」の派遣 正橋市長、本馬副議長 一行 5 名 4 富山・モジ両市の児童生徒作品交換 5 「モジ・ダス・クルーゼス市中学生親善訪問団」 の来富 野沢由紀子モジ市しらゆり日本語教室教諭 一行 3 名	6 月 2 5 日～2 8 日 於：産業展示館 9 月 2 6 日～2 7 日 於：産業奨励館 1 0 月 9 日～2 3 日 モジ市訪問（10 月 13 日～14 日） 1 0 月 S 6 3 年 1 月 2 7 日～ 2 8 日
昭和 6 3 年度 (1988 年)	1 モジ・ダス・クルーゼス市への医療機器贈呈 (中古顕微鏡 1 台)	6 月 2 1 日 (ブラジル・サントス港到着)

年 度	概 要	
昭和63年度 (1988年)	2 “インポートフェアとやま’88” (日本貿易振興 会他主催) においてモジ市を紹介 3 第7回姉妹友好都市子供の作品展 4 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	6月23日～26日 於:市体育文化センター 10月1日～2日 於:産業奨励館 10月
平成元年度 (1989年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス市親善訪問団」の来富 森昇モジ市副市長一行6名 市制百周年記念式典に列席 2 “とやまトレードフェア’89” (実行委員会等主催) においてモジ市を紹介 3 第8回姉妹友好都市子供の作品展 4 「日伯親善富山市民の翼」の派遣 正橋市長 一行55名(救急車3台を贈呈500万円相当) 5 「モジ・ダス・クルーゼス市中学生親善訪問団」 の来富 野沢由紀子モジ市しりゆり日本語教室教諭 一行3名 6 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	6月12日～21日 6月15日於:公会堂 6月22日～25日 於:市体育文化センター 10月12日～16日 於:県民会館 11月6日～18日 モジ市訪問 (11月8日～9日) H2年 1月18日～20日 3月
平成2年度 (1990年)	1 モジ・ダス・クルーゼス市在住画家荒巻漸の個展 (ブラジル風景画25点、貝殻100点)開催 2 “とやまトレードフェア’90” (実行委員会等主催) においてモジ市を紹介 3 「富山市医薬品海外市場調査視察団」の派遣 安村善信極東薬品社長 一行12名 4 第9回姉妹友好都市子供の作品展 5 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	6月16日～17日 於:市民プラザ 6月21日～24日 於:産業展示館 10月13日～24日 モジ市訪問 (10月15日) 10月12日～16日 於:市民プラザ 12月
平成3年度 (1991年)	1 “とやまトレードフェア’91” (実行委員会等主催) においてモジ市を紹介 2 第10回姉妹友好都市子供の作品展 3 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	6月19日～23日 於:産業展示館 9月20日～24日 於:市民プラザ 12月
平成4年度 (1992年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス文化協会訪問団」の受入 北口勝治モジ文化協会元理事長ご夫妻(式典への招待) 2 “とやまトレードフェア’92” (実行委員会等主催) においてモジ市を紹介 3 “ジャパンエキスポ富山’92”「世界のなかま館」 において、モジ市を紹介 4 第11回姉妹友好都市子供の作品展 5 富山・モジ両市の児童生徒作品交換	5月28日～31日 庁舎竣工式5月30日 6月25日～28日 於:産業展示館 7月10日～27日 於:県民公園大閣山ランド 9月23日～25日 於:市民プラザ 12月
平成5年度 (1993年)	1 “とやまトレードフェア’93” (実行委員会等主催) においてモジ市を紹介 2 モジ・ダス・クルーゼス市へ不用衣類を寄贈 9万3千点	6月22日～25日 於:産業展示館 10月上旬発送 H6年 2月中旬サンスト港到着

年 度	概 要	
平成5年度 (1993年)	3 「モジ・ダス・クルーズス市中学生」の来富 水田プリシラすみえ ^モ 市しらゆり日本語学校生徒 1名	H6年2月2日～3日
平成6年度 (1994年)	1 “とやまトレードフェア’94”（実行委員会等主催） においてモジ市を紹介 2 姉妹都市提携15周年記念「富山市親善訪問団」 の派遣 石田助役 一行10名 3 「モジ・ダス・クルーズス市中学生」の来富 鈴木セウマ里奈 ^モ 市しらゆり日本語学校生徒 一行2名	6月24日～27日 於：産業展示館 6月29日～7月9日 H7年2月6日～7日
平成7年度 (1995年)	1 “とやまトレードフェア’95”（実行委員会等主催） においてモジ市を紹介（協会より出品） 2 「富山県南米親善訪問団」派遣に参加 モジ市を訪問 雲井教育長一行 2名 3 「モジ・ダス・クルーズス市へ不用衣類を寄贈」 1万5千点	6月23日～26日 於：産業展示館 11月1日～15日 モジ市訪問（11月6日～7日） 8年2月上旬発送 3月中旬 サント港到着
平成8年度 (1996年)	1 ‘96 とやま国際フェア世界の観光と物産展”において モジ市を紹介（実行委員会等主催） 2 「ブラジル日系人との交流を通じたふるさとづくり 事業」訪問団 一行6名（県主催、モジ市 中川高志支部長の来富）	6月21日～23日 11月25日～ 12月4日
平成9年度 (1997年)	1 “97 とやま国際フェア世界の観光と物産展”にお いてモジ市を紹介（実行委員会等主催） 2 「モジ・ダス・クルーズス市議会訪問団」の来富 アントニオ・リノ・ダ・シルバ ^モ 市議会議長 一行5名	6月20日～22日 於：産業展示館 10月5日～6日
平成10年度 (1998年)	1 “98 とやま国際フェア世界の観光と物産展”にお いてモジ市を紹介（実行委員会等主催）	6月19日～21日 於：産業展示館
平成11年度 (1999年)	1 “99 とやま国際フェア世界の観光と物産展”にお いてモジ市を紹介（実行委員会等主催） 2 姉妹都市提携20周年記念「モジ市親善訪問団」の 受入 森 昇モジ市長代理 一行10名 3 姉妹都市提携20周年記念式典・記念講演会	7月2日～4日 於：産業展示館 10月24日～27日 10月25日於：大手町フォーラム
平成12年度 (2000年)	1 “2000 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいてモジ市を紹介（実行委員会等主催） 2 「富山県南米親善訪問団」派遣に参加 モジ市を訪問 才木水道事業管理者 一行2名	6月30日～7月2日 於：産業展示館 11月18日～29日 モジ市訪問（11月20日～22日）
平成13年度 (2001年)	1 「モジ・ダス・クルーズス市親善訪問団」の来富 安部 順二市長一行 17名 2 “2001 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいてモジ市を紹介（実行委員会等主催）	4月3日～4日 6月29日～7月1日 於：産業展示館
平成14年度 (2002年)	1 “2002 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいてモジ市を紹介（実行委員会等主催）	6月28日～30日 於：産業展示館
平成15年度 (2003年)	1 “2003 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいてモジ市を紹介（実行委員会等主催）	6月27日～29日 於：産業展示館

年 度	概 要	
平成16年度 (2004年)	1 “2004 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に おいてモジ市を紹介（実行委員会等主催）	7月2日～4日 於：産業展示館
平成17年度 (2005年)	1 「富山県南米親善訪問団」派遣に参加 モジ市を訪問 森市長 一行2名	10月21日～31日 モジ市訪問（10月25日～26日）
平成19年度 (2007年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス市親善訪問団」の受入 安部 順二市長 一行9名	7月10日～11日
平成22年度 (2010年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス市親善訪問団」の受入 マルコ・アウレリオ・ペルタイオーリモジ市長一行5名 2 「富山県南米親善訪問団」派遣に参加 モジ市を訪問 広瀬副市長 一行3名	4月24日～25日 7月26日～8月3日 モジ市訪問（7月30日～31日）
平成24年度 (2012年)	1 「富山市職員」の派遣 北野環境センター所長 一行2名 「JICA 草の根技術支援事業」 2 「モジ・ダス・クルーゼス市環境研修員」の受入 アンドレ・ルイズ・コスタ・サライバ モジ市緑・環境局 許可担当部長 一行2名 「JICA 草の根技術支援事業」 3 「富山市職員」の派遣 北野環境センター所長職員 一行2名 「JICA 草の根技術支援事業」	8月17日～9月8日 10月17日～11月1日 平成25年 3月3日～12日
平成25年度 (2013年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス市環境研修員」の受入 ホミウド・デ ピーンヨ カンベッロ モジ市緑・環境局 長一行2名 「JICA 草の根技術支援事業」 2 「富山市職員」の派遣 北野環境センター所長職員 一行2名 「JICA 草の根技術支援事業」 3 「富山市職員」の派遣 牧環境センター次長一行3名「JICA 草の根技術支援事業」	7月22日～31日 8月27日～9月6日 H26年 2月11日～22日
平成26年度 (2014年)	1 「富山市職員」の派遣 牧環境センター次長 一行2名 「JICA 草の根技術支援事業」	8月18日～29日
平成27年度 (2015年)	1 「富山県南米親善訪問団」派遣に参加 モジ市を訪問 中村副市長一行2名	10月1日～8日 モジ市訪問（10月2日～3日）
令和元年度 (2019年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス市親善訪問団」の受入 マルクス・ヴィニシウス・デ・アウメイラ・エ・メーロ モジ市長 一行9名 2 「モジ・ダス・クルーゼス市実務協議者」の来富 平塚範夫 一行2名	4月23日～24日 12月16日～17日
令和5年度 (2023年)	1 「モジ・ダス・クルーゼス市親善訪問団」の受入 クーニャ、カイオ・セーザル・マシャド モジ市長一行10名	5月23日～24日

モジ・ダス・クルーゼス市の位置



秦皇島市（中国）

1. 締結年月日

1981（昭和56）年5月7日
（友好都市締結調印の日）

2. 締結経過

昭和54年5月“中日友好の船”訪日団一行が来富の際、富山市長から団長の廖 承志中日友好協会会長（当時）に中国の都市との友好都市締結を申し入れ、団長より両市の規模がほぼ同じで、港を抱える産業都市という共通点から具体的に河北省秦皇島市との縁組話がされた。

昭和54年7月秦皇島市へ、富山市民の船派遣と友好都市締結のため先遣団を派遣すると共に、55年5月下旬には“日中友好富山市民の船”一行359名が、13日間の日程で秦皇島・天津・北京の3都市を訪問した。

56年2月秦皇島市より友好都市締結調印同意の電文を受け、直ちに秦皇島市へ友好都市締結調印の打合せのため先遣団を派遣、5月7日秦皇島市長一行を富山市に迎え友好都市調印式を行った。

3. 秦皇島市の概要

（1）沿革

秦皇島市は、中国河北省東北部にあり、北は燕山を背にし、南は渤海に臨み、東は遼寧省に接する港湾都市である。また、華北と東北という2大経済区を結ぶ交通の要地である。市区は、海港区・山海関区・北戴河区・撫寧区の四区にわかれ、周辺は盧龍県・昌黎県・青龍満族自治県の2県1自治県がとりかこみ、都市の背景地と農業副業生産品の供給地となっている。その中で海港区は政治・経済・文化の中心であり、市政府や人民代表大会の常務機関などがおかれている。

「秦皇島市」は、その名の示すとおり秦の始皇帝に由来し、紀元前215年に始皇帝が東巡した際に発見した小島がその後の地殻変動によって半島となったことからきている。そして、秦・漢の時代から船や商人が集まっていたが、1898年に清政府が商業港として開放して以来、中国北方の有数の港湾として発展した。

かつては一漁村にすぎなかったが、商業港としての開放以後、イギリス人が唐山で経営していた開鑿炭鉱の石炭積み出し港として使われた。

新中国となってからは港の改造・拡張が進められ、2019年貨物取扱量2,19億トンである。

秦皇島市は、1984年に中国の沿岸開放都市に指定され、産業・経済・観光などの各分野にわたり目ざましく発展している。

また、市の東に名高い万里の長城の東端“山海関”“老龍頭”、西に避暑地として有名な“北戴河”があり、他にも“孟姜女廟”や“燕塞湖”など景勝地が数多く、年間約数百万人の観光客が訪れる。

（２）位置・気候

秦皇島市は、河北省の東端で渤海に面する北緯 39 度にあり、北京から 293 km で、鉄道は京・哈線（北京－ハルビン）と電化された京・秦線（北京－秦皇島）が東西を貫いている。道路は東北地方や北京・天津に至る。また、中国民航は、上海、石家庄、大連などへの航空路線を開設している。

秦皇島市は、丘陵地帯が 70% を占め、気候は温帯海洋性で年間の平均気温は 11.1℃、7 月の平均気温は 25℃、1 月の平均気温は -4 ～ 5℃ で冬の最大積雪量は 13 cm である。

（３）産業・経済

秦皇島市は、市の中心部に位置し、中国北部では最良の不凍港となっている。また、水深が深いので、5 万トン級の貨物船が 2 艘同時に接岸できる埠頭など 45 のバースを有し、約 170 余りの国や地域と貿易関係を持っている。現在、日本の苫小牧港、オーストラリアのニューカッスル港等と友好港を結んでいる。

港は年々拡張され、有名な大慶油田から 1,152 km にも及ぶ地下パイプラインによって原油が、そして山西省、河北省、内蒙古から鉄道によって石炭等が輸送されて国内外に運ばれており、エネルギー輸出港としては中国最大である。

秦皇島市では、19 世紀の終りから工場の経営が始められ、今日では建材、軽工業、橋梁を中心とする工業部門が形成され、特に、工業用ガラス産業については、25 箇所の工場がある。ガラス製品は、約 50 余りを数える。「ガラスの町」とも言われる。全国一の規模を持ち全国の生産量の 10% を占めている。その他、機械製造業、ビニール産業、化学肥料、プラスチック、繊維なども発展してきている。

秦皇島市において、経済技術開発区が設置され、経済特別区の外資優遇政策をとっている。経済技術開発区の総面積は 128 平方キロである。また、開発区ではインフラが十分整備され、区内に 256 企業を有し、高能率で便利な投資管理サービス体制整備が設立された。

開発区の産業構造を発展させる方向づけとして、将来への発展を目指すハイテクプロジェクトの導入や国際市場の需要に応じる輸出外貨型プロジェクトの導入が決定された。具体的には、レーザー技術、新素材、生医学、電子工業、精密機械、建材ガラス、軽工業、紡績工業、食品などの業種が含まれる。

現在、秦皇島市では、日系企業による直接投資企業家が増え、旭硝子、伊藤忠、丸紅等が進出している。

秦皇島市北部山間の丘陵地帯では、天然資源が豊富で、石炭・鉄・砂石・石灰石・花崗岩などを有し、また、果物の主要な産地で、ブドウ・桃・リンゴ・梨や栗が有名である。また、各種漢方薬も多く産する。

近海の漁業も盛んで、クルマエビ・カニ・ナマコ・クラゲなどが特産で、水産物の養殖にも力を入れている。

（４）教育・文化

中国 88 の重点大学の一つである燕山大学は、東北機械学院の分校である。同校は、万全な教育管理体制と教育設備及び科学研究器具を有している。現在、上智大学や東京大学及び駒澤大学との交流を行い、日本の広島大学、イギリスのバーミンガム大学、アメリカのトレド大学と友好関係を結んでいる。

また、ゲートボールをはじめとするスポーツも盛んである。そして、広大なヨット競技場を有し、1989年第11回アジア大会ヨット競技や2008年オリンピックサッカー予選会が秦皇島市で行われた。

(5) 市政

市人民政府は執行機関であり、人民代表大会及び一級上の国家行政機関すなわち省に対して責任を負い、その政治活動を報告する。

市長 1名 常務副市長 1名 副市長 若干名

市人民代表大会は権力機関で、行政区域内の各種の重大事項を決定する。人民代表大会には常設機関である常務委員会がおかれ、主任及び副主任若干名で構成される。

・市長

丁偉 (2021年2月就任)

・常務副市長

劉亜洪

・副市長

孫国勝 (環境・金融等担当) 楊鉄林 (農業・林業等担当)

李春 (司法・都市管理等担当) 廉茹艷 (教育・医療等担当)

馮志永 (文化・国際・観光等担当)

人民代表大会常務委员会主任

楊玉忠

中国共産党秦皇島市委員会書記

朱政学

★ 秦皇島市 (河北省)

他の姉妹都市：苫小牧市 (日) 1998. 9. 1
その他 アメリカ、イタリア、フランス、南アフリカ、韓国、オーストラリア等

位置	: 東経 119 度、北緯 39 度	短期大学	: 11 校
人口	: 約 3,140,000 人	専門学校	: 6 校
面積	: 7,813 km ²	高等学校	: 13 校
年間平均気温	: 11.1℃	職業学校	: 39 校
平均最高気温	: 25℃	中学校	: 157 校
平均最低気温	: -5℃	小学校	: 421 校
平均相対湿度	: 61%	幼稚園	: 327 園
年平均降雨量	: 630 ミリ	体育館	: 8 箇所
最大積雪量	: 13 cm	図書館	: 8 箇所
停泊地	: 50 バース	病院	: 68 箇所
大学	: 2 校	医師数	: 9,850 人

4. 議定書

日本国富山市と中華人民共和国秦皇島市との友好都市締結に関する議定書

日中平和友好条約の原則と精神に基づき、両国及び両市の友好関係を一層発展させるため、日本国富山市と中華人民共和国秦皇島市は友好都市締結を決定する。

両市は、平等互惠の基礎の上に一致協力して、経済・教育・文化・科学技術・体育などの各分野にわたる広汎な交流と協力につとめ、両国国民は子子孫孫にわたり、友好関係の促進に寄与することを念願するものである。

この議定書は、署名の日から発効する。

秦皇島避暑地北戴河



5. 秦皇島市との友好都市交流事業経過

年 度	概 要	
昭和54年度 (1979 年)	1 「日中友好富山市民の船」先遣団の秦皇島市訪問 塩谷助役 一行5名 2 市制90周年記念式典 秦皇島市代理中国大使館員の 来富 一行2名 3 「友好都市締結促進業務訪問団」の派遣 松井武男県日中友好協会会長 一行2名	7月9日～18日 秦皇島市訪問(7月13日～16日) 10月10日～13日 S55年 2月10日～19日 秦皇島市訪問(2月13日～15日)
昭和55年度 (1980 年)	1 中国版市勢要覧送付 2 「日中友好富山市民の船」の派遣 改井市長 一行359名 3 「富山市・秦皇島市友好都市締結先遣団」の派遣 森本企画部長 一行3名	5月 5月26日～6月7日 秦皇島市訪問(5月29日～31日) S56年 2月16日～25日 秦皇島市訪問(2月18日～21日)
昭和56年度 (1981 年)	1 友好都市締結調印式(記念碑除幕、植樹式) 許 斌秦皇島市長 一行6名 2 富山市日中友好協会「友好都市訪問の旅」の派遣 和田松次郎 一行10名 3 王 曉雲駐日大使代理の来富 4 「富山市友好代表団」の秦皇島市答礼訪問 改井市長、成田副議長 一行6名 5 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換	5月7日 於:富山市 5月5日～16日 8月18日～26日 秦皇島市訪問(8月21日～23日) 8月24日 10月2日～15日 秦皇島市訪問(10月4日～7日) 12月
昭和57年度 (1982 年)	1 友好都市秦皇島市資料展示コーナー設置 2 「第1回秦皇島市農業技術研修生」の受入 劉 茂林秦皇島市農林局助理農芸師 一行4名 3 「富山音楽を咲かせる会」の派遣 亀田昇(作詞家) 一行22名 4 「秦皇島市物産展開催先遣団」の派遣 窪田企画行政部次長 一行3名 5 「秦皇島市貿易促進団」の来富 辺 博賢秦皇島市輸出入管理委員会副主任 一行6名 6 「中国秦皇島市物産展」の開催 7 日中友好都市交換卓球大会の開催 王 伝燿監督 一行11名 8 第1回姉妹友好都市子供の作品展 9 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換	4月5日 於:産業奨励館 4月25日～8月5日 5月1日 6月6日～11日 秦皇島市訪問(6月6日～9日) 7月30日～8月10日 8月1日～5日 於:産業奨励館 9月20日～27日 9月26日～27日 於:産業奨励館 12月
昭和58年度 (1983 年)	1 「富山商工会議所中国経済視察団」の派遣 金尾力松富山商工会議所副会頭 一行28名 2 「秦皇島市経済視察団」の来富 于 正珊秦皇島市副市長 一行6名 3 「富山市農業視察団」の派遣 長越農林部次長 一行9名 4 「富山市教育委員会先遣員」の派遣 1名	5月10日～17日 秦皇島市訪問(5月13日～15日) 6月3日～14日 10月3日～12日 秦皇島市訪問(10月5日～8日) 10月12日～15日

年 度	概 要	
昭和58年度 (1983 年)	5 婦人と青少年の国際交流展(婦人と青少年の国際交流の集い実行委主催)において秦皇島市を紹介 6 とやま国際貿易展(富山新聞、日本貿易振興会主催)において秦皇島市を紹介 7 第2回姉妹友好都市子供の作品展 8 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換	10月22日～25日 於:県民会館 11月2日～6日 於:産業展示館 9月17日～18日 於:産業奨励館 12月
昭和59年度 (1984 年)	1 「秦皇島市友好訪問団」の来富 顧 二熊秦皇島市代理市長 一行6名 2 とやまトレードフェア(富山新聞、日本貿易振興会)において秦皇島市を紹介 3 「富山県日中友好協会連合会代表団」の派遣 松村清年富山県会議員 一行4名 4 「富山市日中友好中国経済視察団」の派遣 奥田栄助富山市日中友好協会長 一行8名 5 「第1回富山市中学生友好訪問団」の派遣 黒崎芝園中学校長 一行29名(内中学生 22 名) 6 第3回姉妹友好都市子供の作品展 7 「富山市友好代表団」の派遣 塩谷市長、五十嵐議長 一行8名 8 「富山市物産展」を秦皇島市で開催 (秦皇島市群衆芸術館展示室) 9 「秦皇島市ラクダ随行団」の来富 劉 一秦皇島市外事弁公室副主任 一行4名 (フタコブラクダ一つかいをファミリーパークにて受入) 10 「第1回秦皇島市農業友好訪問団」の来富 呉 澤吉秦皇島市副市長 一行6名 11 「第1回秦皇島市工業研修生」の受入 張 興貫秦皇島市二輕公司副經理 一行2名 12 「秦皇島市食品考察団」の来富 龔 興貫秦皇島市食糧局副局長 一行5名 13 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 14 「秦皇島市公害対策考察団」の来富 劉 樹林秦皇島市環境保護局長 一行4名	5月18日～29日 6月28日～7月1日 於:産業展示館 7月3日～11日 秦皇島市訪問(7月9日～10日) 7月23日～30日 秦皇島市訪問(7月23日～25日) 8月21日～28日 秦皇島市訪問(8月22日～25日) 9月29日～30日 於:産業奨励館 10月3日～14日 秦皇島市訪問(10月4日～7日) 10月6日～11日 10月16日～24日 11月6日～13日 11月20日～12月20日 11月27日～12月6日 S60年2月 2月1日～10日
昭和60年度 (1985 年)	1 「“富燿会”秦皇島市友好訪問の旅」の派遣 改井幹枝 一行27名 2 “とやまトレードフェア’ 85”(富山新聞日本貿易振興会主催)において秦皇島市を紹介 3 「日中友好富山市民の翼事前調査団」の派遣 三井行政課長 一行2名 4 「第1回秦皇島市中学生友好訪問団」の来富 戴 明予秦皇島市教育委员会主任 一行26名(内中学生 20 名)	5月29日～6月8日 秦皇島市訪問(5月30日～6月1日) 6月27日～30日 於:産業展示館 7月16日～25日 秦皇島市訪問(7月17日～20日) 7月30日～8月6日

年 度	概 要	
昭和60年度 (1985 年)	5 秦富針織有限公司設立(合併会社・富士メリヤスと秦皇島市針織三廠との合併) 6 「 <u>第2回</u> 富山市中学生友好訪問団」の派遣 吉野呉羽中学校長 一行27名(内中学生 22 名) 7 第4回姉妹友好都市子供の作品展 8 「 <u>第1回</u> 富山市医師」の派遣 水上市民病院内科部長 一行2名 9 「富山市中核的農業者海外派遣団」の派遣 稲垣農林部長 一行12名	8月 16 日 於:秦皇島市 8月20日～27日 秦皇島市訪問(8月21日～24日) 9月28日～29日 於:産業奨励館 9月 27 日～10月6日 秦皇島市訪問(9月28日～10月1日) 10月3日～12日 秦皇島市訪問(10月5日～6日)
昭和61年度 (1986 年)	1 “とやまトレードフェア’ 86”(富山新聞日本貿易振興会主催)において秦皇島市を紹介 2 「秦皇島市実務協議団」の来富 主 増林秦皇島市外事弁公室副主任 一行3名 3 「 <u>第3回</u> 富山市中学生友好訪問団」の派遣 堀岡東部中学校長 一行26名(内中学生 22 名) 4 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 5 第5回姉妹友好都市子供の作品展 6 友好都市締結5周年記念「日中友好富山市民の翼」の派遣 正橋市長 一行149名 (太陽エネルギー時計贈呈 600 万円相当) 7 富山市民病院と秦皇島市第一医院の友好病院締結 8 「秦皇島市友好訪問団」の来富 武 兗秦皇島市人民代表大会常務委員会副主任 一行6名	6月26日～29日 於:産業奨励館 6月24日～7月5日 8月19日～26日 秦皇島市訪問(8月20日～23日) 8月 9月20日～21日 於:産業奨励館 9月21日～30日 秦皇島市訪問(9月22日～25日) 9月23日 於:秦皇島市 11月11日～23日
昭和62年度 (1987 年)	1 「秦皇島市医学考察団」の来富 張 福新秦皇島市第一医院副院長 一行6名 2 「秦皇島市経済考察団」の来富 張 玉書秦皇島市副市長 一行8名 3 “とやまトレードフェア’ 87”(富山新聞日本貿易振興会主催)において秦皇島市を紹介 4 「 <u>第2回</u> 秦皇島市農業研修生」の受入 劉 恩秦皇島市農林局助理農芸師 一行4名 5 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 6 「 <u>第4回</u> 富山市中学生友好訪問団」の派遣 長沢信次北部中学校長 一行26名(内中学生 22 名) (ファクシミリを贈呈) 7 第6回姉妹友好都市子供の作品展 8 「富山市中核的農業者海外派遣団」の派遣 西村芳英そ菜組合長 一行17名 9 「 <u>第1回</u> 秦皇島市医学研修生」の受入 張 樹賢秦皇島市第一医院胸部外科副主任 一行2名	4月10日～20日 5月29日～6月8日 6月25日～28日 於:産業展示館 6月30日～9月26日 8月 8月18日～25日 秦皇島市訪問(8月19日～25日) 9月26日～27日 於:産業奨励館 10月 27 日～11月6日 秦皇島市訪問(10月29日～31日) S63年3月1日～4月1日

年 度	概 要	
昭和63年度 (1988 年)	1 “インポートフェアとやま’ 88”(日本貿易振興会 主催)において秦皇島市を紹介 2 「富山市農業視察団」の派遣 山岡敏直 一行9名 3 「秦皇島市実務協議団」の来富 主 増林秦皇島市外事弁公室副主任 一行6名 4 「第5回富山市中学生友好訪問団」の派遣 栗山奥田中学校長 一行29名(内中学生 23 名) 5 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 6 「富山市中小企業視察団」の派遣 野村勲総和レジン社長 一行6名 7 「第3回秦皇島市農業研修生」の受入 鄧 嘉林撫寧県畜牧局獣医 1名 8 第7回姉妹友好都市子供の作品展 9 「秦皇島市都市農村管理考察団」の来富 張 宝林秦皇島都市農村管理委員会副主任 一行8名	6月23日～26日 於:市体育文化センター 7月5日～15日 秦皇島市訪問(7月6日～9日) 7月15日～27日 8月8日～19日 秦皇島市訪問(8月12日～16日) 8月 8月30日～9月9日 秦皇島市訪問(9月2日～5日) 9月20日～12月16日 10月1日～2日 於:産業奨励館 12月1日～6日
平成元年度 (1989 年)	1 “とやまトレードフェア’ 89”(実行委員会等主催) において秦皇島市を紹介 2 「第2回秦皇島市中学生友好訪問団」の来富 馮 国華秦皇島市政府副秘書長 一行26名(内学生21名) 3 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 4 「秦皇島市友好訪問団」の来富 劉 一秦皇島市外事弁公室副主任 一行4名 5 第8回姉妹友好都市子供の作品展	6月22日～25日 於:市体育文化センター 8月4日～14日 8月 10月6日～10月15日 10月12日～16日 於:県民会館
平成2年度 (1990 年)	1 「第1回富山市ゲートボール友好訪問団」の派遣 山田善五郎市日中友好協会 一行18名 2 “とやまトレードフェア’ 90”(実行委員会等主催) において秦皇島市を紹介 3 「第6回富山市中学生友好訪問団」の派遣 岩城奥田中学校長 一行30名(内中学生 23 名) 4 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 5 第9回姉妹友好都市子供の作品展 6 「第2回秦皇島市工業研修生」の受入 彭 廉秦皇島市冶金機械工場上級エンジニア 一行3名 7 「第1回日中友好都市卓球カーニバル派遣団」の派遣 山本英一 一行3名 8 「秦皇島市実務協議団」の来富 主 増林秦皇島市外事弁公室副主任 一行3名	6月9日～17日 秦皇島市訪問(6月9日～13日) 6月21日～24日 於:産業展示館 8月7日～17日 秦皇島市訪問(8月8日～12日) 8月 10月12日～16日 於:市民プラザ 10月19日～H3年3月8日 11月26日～ 12月1日 H3年3月26日～4月5日
平成3年度 (1991 年)	1 「富山ライオンズクラブ派遣団」の派遣 吉澤栄一日立化成ユニット社長 一行6名	5月1日～5日 秦皇島市訪問(5月2日～4日)

年 度	概 要	
平成3年度 (1991 年)	2 「秦皇島市友好訪問団」の来富 趙 銘秦皇島市政治協商會議主席 一行7名 友好都市締結10周年記念式典に出席のため (秦皇島市から「天下第一関」のタイル壁絵を受領) 3 “とやまトレードフェア’ 91”(実行委員会等主催) において秦皇島市を紹介 4 「富山市経済友好訪問団」の派遣 金尾力松富山商工会議所副会頭 一行7名 5 「第7回富山市中学生友好訪問団」の派遣 大泉教育委員会次長 一行30名(内中学生 23 名) 6 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 7 「第2回富山市医師」の派遣 松本市民病院副院長 一行2名 8 第10回姉妹友好都市子供の作品展 9 友好都市締結10周年記念「日中友好富山市民の翼」の派遣 正橋市長 一行101名 (超音波診断装置、紫外線高度計医療機器を贈呈) 10 「第2回秦皇島市医学研修生」の受入 薛 金環秦皇島市第一医院耳鼻咽喉科副主任 一行2名 11 「秦皇島市そ菜考察団」の来富 李 書和秦皇島市副市長 一行5名 12 「秦皇島市金融考察団」の来富 王 石英中国銀行秦皇島市支店長 一行6名 13 「秦皇島市経済友好訪問団」の来富 陳 来立秦皇島市常務副市長 一行5名 「秦皇島市経済投資セミナー」の開催のため	5月26日～6月4日 5月29日 於:市民プラザ 6月19日～23日 於:産業展示館 7月26日～8月2日 秦皇島市訪問(7月28日～31日) 8月4日～14日 秦皇島市訪問(8月5日～9日) 8月 9月15日～22日 秦皇島市訪問(9月16日～19日) 9月20日～24日 於:市民プラザ 10月6日～16日 秦皇島市訪問(10月7日～10日) 11月1日～12月27日 11月27日～12月8日 12月3日～12日 12月15日～25日
平成4年度 (1992 年)	1 「富山ライオンズクラブ」設立35周年記念事業 として、秦皇島市に救急車3台を贈呈 2 「富山ライオンズクラブ訪問団」の派遣 吉澤栄一日立化成ユニット社長 一行9名 3 「第2回富山市ゲートボール友好訪問団」の派遣 近島ゲートボール協会理事 一行17名 4 「秦皇島市友好訪問団」の来富 王 大名秦皇島市長 一行6名 (庁舎竣工式典に出席のため) 5 “とやまトレードフェア’ 92”(実行委員会等主催) において秦皇島市を紹介 6 “ジャパンエキスポ富山’ 92”「世界のなかま館」 において秦皇島市を紹介 7 「第8回富山市中学生友好訪問団」の派遣 佐藤山室中学校長 一行29名(内中学生 22 名) 8 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換	3月末天津新港到着 4月12日～16日 秦皇島市訪問(4月12日～14日) 5月8日～16日 秦皇島市訪問(5月10日～13日) 5月26日～6月3日 6月25日～28日 於:産業展示館 7月10日～9月27日 於:県民公園大閘山ラント 8月4日～14日 秦皇島市訪問(8月5日～9日) 8月

年 度	概 要	
平成4年度 (1992 年)	9 「 <u>第4回</u> 秦皇島市農業研修生」の受入 梁 潤波秦皇島市農業技術センター副所長 一行2名 10 「富山市ジュニアスポーツ指導者」の派遣 吉田体育協会専務理事 一行5名 11 第11回姉妹友好都市子供の作品展 12 「 <u>第3回</u> 秦皇島市医学研修生」の受入 蘇 国良秦皇島市第一医院脳神経外科副主任 一行2名 13 「 <u>第3回</u> 秦皇島市工業研修生」の受入 孫 墨文秦皇島市調味料副工場長 一行2名 14 「 <u>第2回</u> 日中友好都市卓球カーニバル派遣団」の派遣 堀清治 一行3名 15 「富山市実務協議団」の派遣 鹿熊総務部長 一行3名	9月 11 日～12 月 27 日 9月23日～10 月2日 秦皇島市訪問(9 月24 日～26 日) 9月23日～25日 於:市民プラザ 10 月 27 日～12 月 24 日 11 月 17 日～12 月 24 日 12月1日～3日 H5年 3月 25 日～30 日 秦皇島市訪問(3 月26 日～28 日)
平成5年度 (1993 年)	1 “とやまトレードフェア’ 93”(実行委員会等主催) において秦皇島市を紹介 2 「 <u>第9回</u> 富山市中学生友好訪問団」の派遣 前田堀川中学校長 一行27名(内中学生 21 名) 3 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 4 「秦皇島市山海関貿易友好訪問団」の来富 甘 善元山海関中聯自動車機械部品有限公司総経理 一行3名 5 「富山市経済友好訪問団」の派遣 源浩源代表取締役社長 一行10名 6 「 <u>第3回</u> 富山市医師」の派遣 山野市民病院副院長 一行2名 7 「秦皇島市体操指導者」の招聘 趙 友輝保定市体操学校コーチ 1名 8 「 <u>第1回</u> 秦皇島市日本語研修生」の受入 張 立起秦皇島市外事弁公室接待科副科長 1名 9 「 <u>第4回</u> 秦皇島市医学研修生」の受入 柳 東田秦皇島市第一医院CCU主治医 一行2名 10 「 <u>第4回</u> 秦皇島市工業研修生」の受入 劉 徳庸秦皇島市燕山大学助教授 一行2名	6月22日～25日 於:産業展示館 8月1日～12日 秦皇島市訪問(8 月2 日～8 日) 8月 8月29日～30日 9月7日～14日 秦皇島市訪問(9 月8 日～11 日) 9月14日～21日 秦皇島市訪問(9 月15 日～18 日) 9月14日～12月10日 9月14日～H6年 3 月14日 10月26日～12月26日 12月3日～H6年2月17日
平成6年度 (1994 年)	1 「秦皇島市実務協議団」の来富 王 増林秦皇島市外事弁公室主任 一行3名 2 「富山市囲碁友好訪問団」の派遣 野村勲総和レジン社長 一行12名 3 「秦皇島市経済友好訪問団」の来富 高 蘭栓秦皇島市副市長 一行5名 4 「 <u>第3回</u> 富山市ゲートボール友好訪問団」の派遣 吉田ゲートボール協会会長 一行15名	4月19日～24日 5月1日～6日 秦皇島市訪問(5 月1 日～3 日) 6月4日～9日 5月27日～6月5日 秦皇島市訪問(5 月28 日～31 日)

年 度	概 要	
平成6年度 (1994 年)	5 “とやまトレードフェア’ 94”(実行委員会等主催) において秦皇島市を紹介 6 「<u>第10回</u>富山市中学生友好訪問団」の派遣 勝原新庄中学校長 一行26名(内中学生 20 名) 7 富山・秦皇島両市の児童生徒作品交換 8 「<u>第3回</u>秦皇島市中学生友好訪問団」の来富 趙 自良秦皇島市教育委員会副主任 一行17名(内中学生 12 名) 9 「秦皇島市体操指導者」の招聘 趙 友輝保定市体操学校コーチ 1名 10 「秦皇島市科学技術考察団」の来富 李 俊慧秦皇島市科学技術委員会副主任 一行4名 11 「日中友好花柳源香の会」の派遣 朝日力三花柳源香の会会長 一行11名 12 「<u>第5回</u>秦皇島市農業研修生」の受入 劉 宝昆昌黎県農林局助理農芸師 一行2名 13 「富山市実務協議団・農家訪問団」の派遣 高野総務部長 一行9名 14 第12回姉妹友好都市子供の作品展 15 「日・中・韓合弁企業」設立調印 (総和レジン) 16 「<u>第5回</u>秦皇島市医学研修生」の受入 張 新慧秦皇島市第一医院泌尿器科主治医 一行2名	6月24日～27日 於：産業展示館 7月 31 日～8月 10 日 秦皇島市訪問(8月1日～4日) 8月 8月16日～20日 8月24日～ H7年2月19日 10月13日～19日 10月8日～13日 10月19日～12月27日 10月30日～11月6日 秦皇島市訪問(10月31日～3日) 10月 於：市民プラザ 11月 於：秦皇島市 H7 年1月20日～3月 12 日
平成7年度 (1995 年)	1 “とやまトレードフェア’ 95”(実行委員会等主催) において秦皇島市を紹介(協会より出品) 2 「秦皇島市ゲートボール友好訪問団」の来富 沈 士傑元秦皇島市耀華ガラス工場副主任 一行6名 3 「秦皇島市郷鎮企業訪問団」の来富 馮 貴平秦皇島市外事弁公室副主任 一行8名 4 「<u>第4回</u>秦皇島市中学生友好訪問団」の来富 唐 玉春秦皇島市教育委員会副主任 一行16名(中学生12名) 5 「<u>第6回</u>秦皇島市農業研修生」の受入 趙 彦民昌黎県科学技術委員会副主任 1名 6 「<u>第4回</u>富山市医師」の派遣 宮本市民病院小児外科部長 一行2名 7 「富山市民国際交流協会友好訪問団」の派遣 窪田菊次郎 一行26名 8 「秦皇島市商業訪問団」の来富 辺 昭環秦皇島市政府副秘書長 一行5名 9 「<u>第1回</u>秦皇島市商業研修生」の受入 李 国良秦皇島市百貨店総経理 1名 10 「<u>第6回</u>秦皇島市医学研修生」の受入 呂 文臣秦皇島市第一医院副院長 一行2名	6月23日～26日 於：産業展示館 5月14日～21日 5月18日～21日 8月18日～25日 8月2日～10月19日 9月8日～15日 秦皇島市訪問(9月10日～12日) 9月23日～29日 秦皇島市訪問(9月25日～27日) 9月27日～30日 10月11日～21日 10月31日～12月20日

年 度	概 要	
平成7年度 (1995 年)	11 「秦皇島市実務協議団」の来富 李 澤軍秦皇島市外事弁公室主任 一行4名	11 月 22 日～12 月2日
平成8年度 (1996 年)	1 「第4回富山市ゲートボール友好訪問団」の派遣 力示ゲートボール協会会長 一行13名 2 ‘ 96“とやま国際フェア世界の観光と物産展”において 秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 3 「第7回秦皇島市農業研修生」の受入 唱 子明秦皇島市牧畜獣医センター獣医 1名 4 「第11回富山市中学生友好訪問団」の派遣 籃島呉羽中学校長 一行25名(内中学生 20 名) 5 「秦皇島市友好訪問団」の来富 黄 榮秦皇島市副市長 一行5名 (オーバード・ホール開会式典に出席のため) 6 友好都市締結15周年記念「日中友好富山市民の翼」 の派遣 正橋市長、五本議長 一行51名 (救急車1台を寄贈、200 万円相当・秦皇島市から唐三彩馬を受領) 7 「秦皇島市民間芸能公演団」の来富 俞 澤陽秦皇島市文化局長 一行21名 8 「東アジア国際交流フェステバル」96‘秦皇島ウイנק(女優 中野良子の講演会・秦皇島市民間芸能披露)	5月22日～29日 秦皇島市訪問(5月24～26 日) 6月21日～23日 於:産業展示館 6月4日～8月28日 9月22日～10 月2日 秦皇島市訪問(9 月23 日～27 日) 9月25日～10 月2日 11月3日～11日 秦皇島市訪問(11 月5 日～8 日) 11月20日～27日 11月23日 於:市民プラザ
平成9年度 (1997 年)	1 「富山市議会秦皇島訪問団」の派遣 五本市議会議長 一行15名 2 “ ‘ 97 とやま国際フェア世界の観光と物産展”において 秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 3 「秦皇島市報道機関訪問団」の来富 趙 軍秦皇島市広播電視(ラジオ・テレビ 放送)局副局長 一行7名 4 「秦皇島市バドミントンコーチ」の招聘 李 江秦皇島市体育学校バドミントンコーチ 1名 5 「第5回秦皇島市中学生友好訪問団」の来富 楊 文山秦皇島市教育委員会副主任 一行27名 (内中学生19名) 6 「第2回秦皇島市日本語研修生」の受入 田 秋蘭昌黎県外事弁公室職員 1名 7 「秦皇島市実務協議団」の来富 李 澤軍秦皇島市外事弁公室主任 一行5名 8 「第1回秦皇島市卓球友好訪問団」の来富 張 瑞征秦皇島市体育運動委員会主任 一行7名	5月8日～13日 秦皇島市訪問(5 月9 日～10 日) 6月20日～22日 於:産業展示館 7月7日～7月11日 8月1日～ H10年 1月26日 8月24日～31日 9月2日～ H10年2月26日 11月12日～22日 H10年 2 月18日～27日
平成10年度 (1998 年)	1 「第5回富山市ゲートボール友好訪問団」の派遣 力示ゲートボール協会会長 一行15名 2 “ ‘ 98 とやま国際フェア世界の観光と物産展”において 秦皇島市を紹介(実行委員会等主催)	5月18日～26日 秦皇島市訪問(5月20 日～23 日) 6月19日～21日 於:産業展示館

年 度	概 要	
平成10年度 (1998 年)	3 「秦皇島市友好訪問団」の来富 趙 鉄練秦皇島市長 一行5名 4 「第3回秦皇島市日本語研修生」の受入 董 紅媛秦皇島市外事弁公室職員 1名 5 「富山市民国際交流協会友好訪問団」の派遣 窪田菊次郎 一行25名 6 「第12回富山市中学生友好訪問団」の派遣 廣田芝園中学校長 一行24名(内中学生 19 名) 8 「第7回秦皇島市医学研修生」の受入 斉 聖民秦皇島市第一医院内科主任 一行2名 9 「富山市実務協議団」の派遣 永森行政課長 一行3名 10 「第2回秦皇島市商業研修生」の受入 宋 錫林秦皇島市海港区商工連合会主席 一行2名	9月3日～11日 9月14日～H11年 2月26日 9月15日～22日 秦皇島市訪問(9月16日～18日) 9月23日～10月1日 秦皇島市訪問(9月24日～28日) 11月18日～ 12月18日 10月21日～28日 秦皇島市訪問(10月22日～25日) H11年1月23日～31日
平成11年度 (1999 年)	1 「秦皇島市友好訪問団」の受入 劉 朔全秦皇島市副市長 一行7名 2 “ ’99 とやま国際フェア世界の観光と物産展”において 秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 3 「第8回秦皇島市農業研修生」の受入 王 暢秦皇島市山海関蘭峰花卉園芸センター副經理 1名 4 「第6回秦皇島市中学生友好訪問団」の受入 劉 貴昌秦皇島市外事弁公室副主任 一行24名(内中学生 19 名) 5 「第4回秦皇島市日本語研修生」の受入 魏 名婕秦皇島経済技術開発区企業誘致局經理 1名 6 「第3回富山市卓球協会友好訪問団」の派遣 沢田秀夫卓球協会会長 一行10名 7 「第5回富山市医師」の派遣 宮森市民病院脳神経外科医長 一行2名	4月1日～4日 7月2日～4日 於:産業展示館 7月5日～9月2日 8月1日～10日 9月7日～H 12年2月25日 11月13日～17日 11月19日～26日 秦皇島市訪問(11月21日～23)
平成12年度 (2000 年)	1 “ 2000 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいて秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 2 「北戴河の会」友好訪問団の派遣 内山恵美子会長 一行12名 (実験小学校へ 200 万円を寄付) 3 「富山市議会秦皇島訪問団」の派遣 力示市議會議長 一行21名 4 「第5回秦皇島市日本語研修生」の受入 王 建華秦皇島経済技術開発区ハイテク創業サービスセンター部長 1名 5 「第13回富山市中学生友好訪問団」の派遣 野上山室中学校校長 一行24名(うち中学生 19 名) 6 「秦皇島市友好訪問団」の受入 周 衛東秦皇島市副市長 一行5名 (2000年国体に出席のため)	6月30日～7月2日 於:産業展示館 5月2日～8日 秦皇島市訪問(5月3日～6日) 5月6日～10日 秦皇島市訪問(5月7日～8日) 9月4日～H13年2月28日 9月24日～10月2日 秦皇島市訪問(9月27日～10月1日) 10月12日～18日

年 度	概 要	
平成12年度 (2000 年)	7 「第3回秦皇島市商業研修生」の受入 李 宝貴秦皇島華聯百貨店副總經理 一行2名 8 「第2回秦皇島市卓球友好訪問団」の受入 楊 占良秦皇島市体育運動委員会副主任 一行8名 9 「第8回秦皇島市医学研修生」の受入 曹 信杰秦皇島市海港医院常務副院長 一行2名	H13年 1月7日～15日 H13年 2月 15 日～23日 H13年2月21日～ 3月23日
平成13年度 (2001 年)	1 「秦皇島港湾局医療視察代表団」の来富 李 繁榮秦皇島港湾局港口病院長 一行5名 2 友好都市締結20周年記念「日中友好富山市民の翼」 の派遣 正橋市長、力示議長 一行59名 (富山市からがら工芸・中日・日中辞書を寄贈・秦皇島市から壺を受領) 3 “ 2001 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいて秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 4 「第9回秦皇島市農業研修生」の受入 李 景坤昌黎県果樹センター主任 一行2名 5 「第7回秦皇島市中学生友好訪問団」の受入 秦 寄翔秦皇島市教育委員会副主任 一行24名(内中学生18名) 6 「第6回富山市ゲートボール友好訪問団」の派遣 力示ゲートボール協会会長 一行16名 7 「秦皇島市民友好訪問団」の受入 張 鉄林秦皇島市労働組合副主席 一行21名	5月6日～13日 5月19日～26日 秦皇島市訪問(5月19日～23日) 6月28日～7月1日 於:産業展示館7月 7月4日～8月9日 7月30日～8月7日 9月3日～9月10日 11月 24 日～12月1日
平成14年度 (2002 年)	1 「秦皇島市ゲートボール友好訪問団」の受入 潘 庚吉秦皇島港口ホテル總經理 一行7名 2 「富山市・富山市日中友好協会友好訪問団」の派遣 金尾協会長・森市長 一行43名(内市関係者3名) (日中国交正常化30周年記念)のため 3 “ 2002 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいて秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 4 「第4回富山市中学生卓球友好訪問団」の派遣 沢田秀夫卓球協会長 一行5名(内中学生2名) 日中国交正常化30周年記念「日中友好交流都市中学生卓球交換大会」に参加のため 5 「秦皇島市友好訪問団(農業視察団)」の受入 劉 景旺秦皇島市副市長 一行6名 日中国交正常化30周年記念「日中自治体友好交流会議」に出席のため 6 「第6回秦皇島市日本語研修生」の受入 管 立新秦皇島市対外貿易経済合作局通訳 1名 7 「第14回富山市中学生友好訪問団」の派遣 稲田悦子水橋中学校校長 一行24名(内中学生19名)	5月9日～16日 5月29日～6月3日 秦皇島市訪問(5月29日～6月2日) 6月28日～30日 於:産業展示館 8月2日～7日 於:北京市 9月9日～16日 (会議期間 9.10～12) 於:富山国際会議場 9月 18日～H15 2月28日 9月22日～30日 秦皇島市訪問(9月23日～26日)

年 度	概 要	
平成14年度 (2002 年)	8 「富山市民国際交流協会友好訪問団」の派遣 久保田照雄市民国際交流協会 長 一行18名 9 「第9回秦皇島市医学研修生」の受入 趙 国珍秦皇島市第一医院副院長 一行2名	10月12日～18日 秦皇島市訪問(9月13日～15日) 10月22日～11月22日
平成15年度 (2003 年)	1 “ 2003 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいて秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 15年度の交流事業についてはSARSのため中止	6月27日～29日 於:産業展示館
平成16年度 (2004 年)	1 「秦皇島市友好訪問団」の受入 朱 浩文秦皇島市副市長 一行7名 2 “ 2004 とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいて秦皇島市を紹介(実行委員会等主催) 3 「第8回秦皇島市中中学生友好訪問団」の受入 馬 建忠秦皇島市海港区教育局長 一行21名(内中学生16名) 4 世界の宝に集う一高校生第3回国際サマースクール in 立山・ 黒部・有峰の開催に伴う秦皇島市高校生の受入 林 青秦皇島市実験中学校英語教師 一行5名 「内 高校生4名」 5 「第7回富山市ゲートボールチーム友好訪問団」の 派遣 中川ゲートボール協会副会長 一行15名 6 「第10回秦皇島市医学研修生」の受入 王 智文秦皇島市第一医院副院長 一行2名	6月2日～4日 7月2日 ～4日 7月19日～21日 8月9日～16日 (開催期間8月10日～13日) 8月30日～9月4日 秦皇島市訪問(8月30日～9月4日) 10月22日～11月20日
平成 17年度 (2005 年)	1 「第10回秦皇島市農業研修生」の受入 関 駒遥秦皇島科学技術局 副 局 長 一行2名 2 「第7回秦皇島市日本語研修生」の受入 張 曉鍾秦皇島市商務局副科長1名 3 「第6回富山市医師」の派遣 泉市民病院 長 一行2名 4 「秦皇島市実務協議団」の受入 張 立起秦皇島市外事弁公室副主任 一行3名	7月19日～8月7日 9月20日～ 平成 18 年3月1日 10月29日～11月4日 11月28日～30日
平成 18年度 (2006 年)	1 「第9回秦皇島市中中学生友好訪問団」の受入 王 建国秦皇島市第七中学校校長 一行22名(内中学生15名) 2 「富山市民国際交流協会友好訪問団」の派遣 梅澤信義市民国際交流協会理事 一行26名 3 「第5回富山市卓球友好訪問団」の派遣 原田市卓球協会会長 一行16名 4 「第11回秦皇島市医学研修生」の受入 張 秀雲秦皇島市第一医院産婦人科主任 一行2名	7月17日～20日 8月27日～9月3日 秦皇島訪問(8月28日～29日) 10月18日～22日 秦皇島訪問(10月18日～21日) 10月20日～11月18日
平成19年度 (2007 年)	1 「第3回秦皇島医療技術友好訪問団」の受入 馮 繼秦皇島市第一医院 長 一行4名 2 「秦皇島市友好訪問団」の受入 王 三堂中国共産党秦皇島委員会書記 一行6名	5月21日～23日 5月29日～31日

年 度	概 要	
平成19年度 (2007 年)	3「 <u>第8回</u> 秦皇島市日本語研修生」の受入 劉 卓秦皇島市商務局職員 1名 4「 <u>第2回</u> 秦皇島市農業友好訪問団」の受入 張 立起秦皇島市外事弁公室副主任 一行6名 5「 <u>第7回</u> 富山市医師」の派遣 池上澄子富山市民病院看護部長 一行2名 6「 <u>第3回</u> 秦皇島市卓球友好訪問団」の受入 于 慷秦皇島市体育局副局長 一行13名	6月5日～9月26日 8月28日～31日 10月26日～11月2日 秦皇島訪問(10月28日～31日) 11月6日～8日
平成20年度 (2008 年)	1「 <u>第12回</u> 秦皇島市医学研修生」の受入 劉 蘭祥秦皇島市第一医院副院長 一行2名 2「 <u>第15回</u> 富山市中学生友好訪問団」の派遣 舟木教育次長中学生 一行10名(内中学生7名)	10月14日～11月12日 11月2日～7日
平成21年度 (2009 年)	1「秦皇島市環境保護研修生」の受入 李 慶生秦皇島市環境保護局職員 2「 <u>第3回</u> 秦皇島市農業友好訪問団」の受入 張 立起秦皇島市外事弁公室副主任 一行6名	9月15日～10月14日 10月13日～17日
平成22年度 (2010 年)	1「 <u>第10回</u> 秦皇島市中中学生友好訪問団」の受入 耿 合堂秦皇島市海港区教育局副局長 一行17名(内生徒12名) 2「 <u>第13回</u> 秦皇島市医学研修生」の受入 陳 興河秦皇島市第一医院脳神経外科医師1名	7月19日～26日 10月26日～11月24日
平成23年度 (2011 年)	1「富山市日中友好協会友好訪問団」の派遣 五本幸正富山市日中友好協会副会長 一行15名 (青龍県小学校へ教材費として 50 万円を寄付) 2「秦皇島市友好訪問団」の受入 趙 懷木人民政府常務副秘書長 一行18名 (友好都市締結 30 周年記念のため)	10月10日～14日 12月13日～15日
平成26年度 (2014 年)	1「 <u>第14回</u> 秦皇島市医学研修生」の受入 張 重陽秦皇島市第一医院救急科主任 一行2名	10月21日～11月19日
平成28年度 (2016 年)	1「 <u>第15回</u> 秦皇島市医学研修生」の受入 李 峰敏秦皇島市第一医院血液検査医師 一行3名 「内、副院長 1 名、10 月 10 日～15 日滞在」 2「 <u>北戴河の会</u> 」友好訪問団の派遣 梅沢信義副会長 一行15名 (実験小学校へ図書費用として 10 万円を寄付)	10月10日～29日 10月18日～24日 秦皇島市訪問(10月19日～20日)
令和3年度 (2022 年)	1「オンライン交流」 秦皇島市:外事商務局副局長 王貴君ほか6名 富山市 :文化国際課3名、国際交流センター所長 富山市民国際交流協会職員3名 姉妹都市委員会 11 名	8月 5 日

秦皇島市の位置



ダーラム市（アメリカ）

1. 提携年月日 1989（平成元）年6月13日
（姉妹都市提携調印の日）

2. 提携経過

昭和63年1月、ダーラム市長から富山市長あてに、姉妹都市提携の可能性について検討するための招待状が届いた。また、国際姉妹都市協会本部（首都ワシントン）からも、両市の姉妹都市提携に協力したい旨の書簡が届いた。その後、書簡や調査資料の交換等による交流を進めるとともに、直接ダーラム市の実情を視察するため、同年11月に調査団を派遣するなど親善交流を深め、姉妹都市提携の合意に達した。平成元年3月6日、ダーラム市議会で姉妹都市提携が承認され、また、富山市議会でも3月22日、提携同意の議案が可決された。

富山市制100周年記念事業の一環として、同年6月13日、ダーラム市長一行を富山市に迎え、姉妹都市提携調印式を行った。

3. ダーラム市の概要 (1) 沿革

ダーラム市は、アメリカ大西洋岸のほぼ中央に位置するノースカロライナ州の中心部にある人口約25万人の主要都市である。

ダーラム市に町が誕生する以前には、英国人、スコットランド人やアイルランド人が、現在のダーラム郡の北西部の水路（エノ川など）沿いに入植していた。

1845年に、バートレット S. ダーラム卿（医師）が、先住のインディアン土地100エーカー（約40万㎡）を購入し、診療所を開設。1850年にノースカロライナ鉄道の駅舎が建設される際に、ダーラム卿が駅の用地として、4エーカーを寄付し、これにちなんで、ダーラム・ヴィル駅（のちにダーラム駅）と命名され、現在の市の名称となる。連邦郵便局が設置された1853年4月26日に、事実上の市制が開始される。また、1858年にロバート・F.・モーリスが、最初のタバコ工場を設立し、タバコ生産が始まる。1865年に南北両将軍が、ダーラム市郊外のベネット・プレイスにて協議し、南北戦争の終結が決まる。

1869年4月10日、ノースカロライナ州議会が、正式にダーラム市制を認可。当時の人口はわずか258人で、市の歳入総額は357.44ドルであった。タバコ産業が同市の主要産業として成長するにつれて、綿花、小麦、肥料、靴下などの工場が設立され、これに伴い銀行、ホテルなどが進出し、鉄道網も整備され、町は急速に発展する。

1924年には、ジェームズ・デューク卿（アメリカタバコ会社の設立者）が、トリニティカレッジに4,000万ドルを寄付し、デューク大学が誕生した。さらに、1930年のデューク大学病院の開院、1956年のリサーチ・トライアングル・パーク（研究の三角地帯）の誕生そして、1976年のダーラム郡総合病院の開院等により、保健、医療研究が一段と進み、『全米の医学都市』と呼ばれるに至る。同市は、現在、医学、研究、教育、芸術を4つの柱として都市づくりを目指している。

（２）位置・気候・住環境

ダーラム市は、大西洋岸の中央にあるノースカロライナ州のほぼ中心部に位置し、ワシントンから約413km（航空機で約50分）、ニューヨークから785km（航空機で約80分）。同市は、海岸から約200km離れた内陸部にあり、標高は123m。はるか西方にはアパラチア山脈がそびえる。

ダーラム市の気候は温暖で、年間を通じて晴天の日が多く、平均気温は15.5℃。四季があり、春と秋は最も過ごしやすい。夏期は蒸し暑い、冬期は降雪も少なく比較的温暖。秋は紅葉が美しい。

同市は、豊かな自然に恵まれ、物価も安く、現在、米国内でも有数の住宅ブームがおこっている。ダーラム市は、ボストンやサンフランシスコとともに全米で最も住みよい都市の一つといわれている。

（３）産業・医療研究

ダーラムの伝統産業は、タバコ産業であり、米国を代表するアメリカタバコ会社やリゲット&マイヤーズ社が操業し、多くのブランドを世に出した。かつて、『ブル・ダーラム』というタバコの商品名が、ニューヨーク・ヤンキースのダッグアウト後方に宣伝用にペイントされていたことから、ブルペンという野球用語が生まれたのは、有名な話である。

しかし、1970年代半ばから始まった工業成長により、同市のタバコ産業は、次第に転換を余儀なくされ、それに変わって、保健・医療研究などの第三次産業が主要産業となる。現在、全労働人口の約25%が保健関連産業に従事している。

『全米の医学都市』と呼ばれる同市には、デューク大学医療センターを始め、高水準の医療技術を有する5つの機関がある。これらの医療機関の年間の研究・開発費は、46億ドル以上といわれている。

また、同市南方7kmより広がる世界最大規模のハイテクパーク、リサーチ・トライアングル・パークは、日本のテクノポリスのモデルにもなり、国立環境衛生研究所、農務省森林研究所、IBM、チバガイギー、バローズウエルカム、グラクソ、住友電気など40以上のハイテク・バイオ関係の連邦政府や企業の研究機関が進出して急速な発展を遂げており、現在、全世界の注目を集めている。また、市の北部にあるビジネスパークには、三菱セミコンダクター（半導体）社などが進出している。

（４）教育・文化

全米屈指の文教地区である同市には、トップクラスの医学部を有するデューク大学、法学部が傑出しているノースカロライナ中央大学、優れたエンジニアを輩出しているダーラム工科コミュニティカレッジなどの高等教育機関がある。

また、リサーチ・トライアングル・パークを中心に、企業と大学の協力が顕著で、基礎研究から応用研究に亘って分担協力し、相互の研究を補完する共同の研究機関や組織が設立されるなど、ダーラム市の教育・研究の水準を高めている。

文化面では、ダーラム芸術協議会が、広範囲の芸術プログラムを提供しているほか、デューク大学やノースカロライナ中央大学などでは、各種のコンサートや美術展覧会などが開催され、市民に文化活動への参加の機会を数多く提供している。

夏期には、1935年からの歴史があるモダンダンスの祭典アメリカ・ダンス・フェスティバルが開催され、全世界から観光客が訪れる。その他、デューク大学礼拝堂、サラ・P・デューク記念庭園、ベネットプレイス等にも多くの観光客が訪れる。

(5) 交通

ダーラム市は、ノースカロライナ州の交通の要所で、同市の東方 22 kmにあるローリー・ダーラム国際空港には、アメリカン航空、ユナイテッド航空など主要航空会社 9 社が乗り入れており、年間の利用客は 4 8 0 万人以上にのぼる。

また、高速道路は 9 路線あり、国内主要都市を連絡しているほか、貨物運送会社 1 3 社が、同市にターミナルを置いている。さらに、ノーフォーク・サザン鉄道が、貨物列車を運行させている。

(6) 市政

市長は公選で、任期は2年。奇数年の11月に選挙が行われる。市長は、市議会の議長となって、議事を進める。市議会は、市長と6名の議員によって構成される。市議会議員の任期は4年で、2年毎に半数が改選される。奇数年の11月に選挙が行われ、地区選出議員3名と全市選出議員3名により成る。

また、市の行政運営は、市議会が任命するシティ・マネージャーが担当する。

・市 長

レオナルド・ウィリアムズ（2023年12月4日就任）

Leonardo Williams

シティ・マネージャー

ワンダ・ペイジ

Wanda Page

★ ダーラム市 (ノースカロライナ州)

他の姉妹都市：

ダーラム市（イギリス）、アルシア市（タンザニア）、株州市（中国）、セラヤ（メキシコ）、カヴァラ（ギリシア）、シビウ（ルーマニア）、ティララン（コスタリカ）

位 置	： 西経 78 度、北緯 35 度	第一次産業従事者数	： 約 6,200 人
人 口	： 約 284,000 人	第二次産業従事者数	： 約 5,200 人
面 積	： 286 km ²	第三次産業従事者数	： 約 50,200 人
年間平均気温	： 15.4℃	短 期 大 学	： 2 校
夏期平均気温	： 25.6℃	高 等 学 校	： 6 校（私立含まず）
冬期平均気温	： 5.1℃	中 学 校	： 9 校（私立含まず）
年間晴天日	： 230 日	小 学 校	： 27 校（私立含まず）
年平均降雨量	： 1,140 ミリ	図 書 館	： 10 箇所
最大積雪量	： 5 cm	公 会 堂	： 1 箇所
都市公園面積	： 1,214 ㊦	博 物 館	： 5 箇所
下水道普及率	： 93%	病院診療所	： 39 箇所(2,096 床)
大 学	： 2 校	医 師 数	： 2,000 人

4. 盟約書

日本国富山市とアメリカ合衆国ダーラム市との姉妹都市提携に関する盟約書

富山市とダーラム市は、姉妹都市として提携することをここに盟約する。

両市は、相互の文化の理解と両市民間の友好と信頼を深めながら、教育・文化・医学・経済等各分野の交流を図り、もって日米両国の親善に寄与し、ひいては、世界の平和と安定に貢献するものである。

ダーラムデューク大学



5. ダーラム市との姉妹都市交流事業経過

年 度	概 要	
昭和 63 年度 (1988 年)	1 ダーラム市長からの書簡 2 英語版市勢要覧等資料の送付 3 「富山市親善訪問団」の派遣 森本収入役一行 3 名	1 月 8 月 11 月 1 日～12 日 ダーラム市訪問(11 月 2 日～5 日)
平成元年度 (1989 年)	1 「ダーラム市親善訪問団」の来富(市制 100 周年記念式典列席) ウィルバー・ガレイダーラム市長 一行 14 名 姉妹都市提携調印式 2 “とやまトレードフェア’ 89” (実行委員会等主催)においてダーラム市を紹介	6 月 11 日～21 日 6 月 22 日～25 日 於:市体育文化センター
平成 2 年度 (1990 年)	1 「富山市姉妹都市提携親善訪問団」の派遣 正橋市長、五十嵐議長 一行 14 名 2 コラボレーションズ(共同製作)第 10 回年次大会に参加 櫻井玲子(華道家) 一行 2 名 3 “とやまトレードフェア’ 90” (実行委員会等主催)においてダーラム市を紹介 4 「正派邦楽会富山県支部アメリカ訪問団」の派遣 河崎雅伸(琴演奏家) 一行 32 名 5 「富山技術開発財団アメリカ・リサーチ・トライアングル・パーク視察団」の派遣 野村精二北陸電力工業会長 一行 13 名 6 米国国立環境衛生科学研究所(リサーチ・トライアングル・パーク) デビッド・ロール所長の記念講演会の開催 7 「ダーラム市英語教師」の招聘 カーチス・ジェネワイン 1 名 8 「富山商工会議所アメリカ・カナダ流通経済視察団」の派遣 水口昭一郎富山商工会議所副会頭一行 20 名 9 第 9 回姉妹・友好都市子供の作品展	4 月 20 日～29 日 ダーラム市訪問(4 月 23 日～26 日) 5 月 3 日～20 日 ダーラム市訪問(5 月 4 日～18 日) 6 月 21 日～24 日 於:産業展示館 7 月 7 日～17 日 ダーラム市訪問(7 月 10 日～12 日) 7 月 8 日～17 日 ダーラム市訪問(7 月 11 日～13 日) 7 月 24 日 於:科学文化センター 9 月 1 日～ 12 月 28 日 9 月 16 日～27 日 ダーラム市訪問(9 月 18 日～20 日) 10 月 12 日～16 日
平成 3 年度 (1991 年)	1 「アーウィン・クレメン展」の開催 (コラージュ作品 53 点) 2 “とやまトレードフェア’ 91” (実行委員等主催)においてダーラム市を紹介 3 「第 1 回ダーラム市高校生代表団」の受入 タキ・スコビル(幼稚園教諭) 一行 8 名(うち高校生 7 名) 4 「第 1 回富山市高校教師ダーラム市親善訪問団」の派遣 池館速夫富山工業高校校長 一行 6 名 5 「第 1 回富山市職員海外派遣研修」 谷屋水道局総務課主査 一行 2 名 6 第 10 回姉妹・友好都市子供の作品展	4 月 10 日～5 月 6 日 於:市民プラザ 6 月 19 日～23 日 於:産業展示館 7 月 6 日～18 日 8 月 3 日～14 日 ダーラム市訪問(8 月 7 日～10 日) 10 月 1 日～13 日 ダーラム市訪問(10 月 2 日～8 日) 9 月 20 日～24 日 於:市民プラザ

年 度	概 要	
平成3年度 (1991年)	7 富山・ダーラム市の児童・生徒の作品交換 8 「<u>第1回</u>富山市高校生代表団」の派遣 岩田政和富山工業高校教諭 一行9名(内高校生7名)	12月 H4年3月12日～31日 ダーラム市訪問(3月15日～28日)
平成4年度 (1992年)	1 「ダーラム市親善訪問団」の来富 ハリ・ローデンハイザー市長 一行7名 (新庁舎竣工式典に出席のため) 2 “とやまトレードフェア’92”(実行委員会等主催) においてダーラム市を紹介 3 「<u>第1回</u>ダーラム教師代表団」の来富 メリーハリソン中学校先生 一行10名 4 “ジャパンエキスポ富山’92”「世界のなかま館」 においてダーラム市を紹介 5 「<u>第2回</u>富山市職員海外派遣研修」 金田観光物産課主事 一行2名 6 第11回姉妹・友好都市子供の作品展 7 「<u>第1回</u>ダーラム市職員」の来富 ケスト・E・ライトダーラム市建設部長 一行2名 8 富山・ダーラム市の児童・生徒の作品交換	5月26日～ 6月3日 6月25日～28日 於：産業展示館 7月4日～13日 7月日～9月27日 於：県民公園大閣山ファクト 10月4日～10月15日 ダーラム市訪問(10月5日～9日) 10月23日～25日 於：市民プラザ 11月13日～20日 12月
平成5年度 (1993年)	1 “とやまトレードフェア’93”(実行委員会等主催) においてダーラム市を紹介 2 「<u>第2回</u>ダーラム市高校生」の受入 レベッカ・スコット教諭 一行10名(内高校生8名) 3 「第2回富山市教師派遣団」の派遣 倉谷科学文化センター副館長 一行2名 4 「<u>第3回</u>富山市職員海外派遣研修」 杉田管財課長 一行2名 5 「<u>第2回</u>ダーラム市職員訪問団」の来富 グレゴリーベサイアダーラム市副シティマネージャ 一行2名 6 「<u>第1回</u>富山市医師」の派遣 細野泰市民病院産婦人科医長 一行2名 7 「<u>第2回</u>富山市高校生派遣団」の派遣 込尾和一富山工業高校教諭 一行10名(内高校生8名)	6月22日～25日 於：産業展示館 7月6日～19日 10月11日～24日 ダーラム市訪問(10月13～19日) 10月11日～24日 ダーラム市訪問(10月13～19日) 11月11日～18日 11月12日～23日 ダーラム市訪問(11月14～19日) H6年3月9日～25日 ダーラム市訪問(3月12日～21日)
平成6年度 (1994年)	1 「<u>第1回</u>ダーラム市医師」の来富 カーティス エッシェマンダーラム市デューク大学 家庭医学臨床助教授 一行2名 2 “とやまトレードフェア’94”(実行委員会等主催) においてダーラム市を紹介 3 「<u>第2回</u>ダーラム市教師」の来富 オーエン・フィリップスダーラム市教育長 一行10名 4 姉妹都市提携5周年記念「富山市親善訪問団」の派遣 竹田収入役 一行10名 (ダーラム野球竣工式に壁絵画を寄贈50万円)	5月10日～15日 6月24日～27日 於：産業展示館 7月7日～18日 8月25日～9月4日 ダーラム市訪問(8月28日～31日)

年 度	概 要	
平成6年度 (1994年)	5 「日米草の根交流サミット」職員の派遣 本田秘書課主査名 6 「第1回富山市民国際交流協会親善訪問団」の派遣 牧野総務企画委員長 一行16名 7 「第3回ダーラム市職員」の来富 アンソニー・テレルロランダーラム市水資源部長 一行2名 8 第12回姉妹・友好都市子供の作品展 9 富山・ダーラム市の児童・生徒の作品交換 10 「富山市華道親善交流訪問団先遣団」の派遣 富山県華道連合会事務局長辻井伸二 一行3名	10月6日～15日 10月15日～24日 ダーラム市訪問(10月15日～19日) 11月2日～9日 10月 12月 H7年2月3日～10日 ダーラム市訪問(2月4日～6日)
平成7年度 (1995年)	1 “とやまトレードフェア’95”(実行委員会等主催) においてダーラム市を紹介(協会より出品) 2 「第3回ダーラム高校生」の受入 ドリス・ウォーカー教諭 一行9名(内高校生7名) 3 「第1回富山市中学生親善訪問団」の派遣 山岸健一東部中学校校長 一行23名(内中学生19名) 4 「第4回富山市職員海外派遣研修」 宮本市民税係長 一行2名 5 「海外博物館交流研修」の派遣 布村科学文化センター課長1名 6 「第1回ダーラム市議会議員」の来富 アイザック・A・ロビンソン議員 一行2名 7 「第4回ダーラム市職員」の来富 オービル・W・パウエルシティ・マネジャ 一行2名 8 「富山市華道親善交流訪問団」の派遣 富山県華道連合会・北陸書道院 一行69名 9 「第3回富山市高校生親善訪問団」の派遣 水上克彦富山工業高校教諭 一行9名(内高校生7名)	6月23日～26日 於：産業展示館 7月7日～19日 9月23日～10月3日 ダーラム市訪問(9月26日～10月2日) 10月23日～11月3日 ダーラム市訪問(10月25日～30日) 10月23日～11月5日 ダーラム市訪問(10月25日～28日) 11月11日～17日 11月11日～17日 11月30日～12月7日 ダーラム市訪問(12月1日～2日) H8年3月9日～24日
平成8年度 (1996年)	1 “’96とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいてダーラム市を紹介(実行委員会等主催) 2 「第3回ダーラム市教師親善訪問団」の来富 サルワ ミッシリキ教師 一行8名 3 「第5回ダーラム市職員」の来富 シャロン・ウィンステッド・スコット広報担当部長一行2名	6月21日～23日 於：産業展示館 7月7日～17日 11月12日～19日
平成9年度 (1997年)	1 “’97とやま国際フェア世界の観光と物産展”に おいてダーラム市を紹介(実行委員会等主催) 2 「第1回富山市議会議員」の派遣 松本弘行富山市議会議員 一行2名 3 「第5回富山市職員海外派遣研修」 森田企画調整室副主幹 一行2名 4 「第2回富山市中学生親善訪問団」の派遣 高見憲太郎堀川中学校校長 一行24名(内中学生19名)	6月20日～22日 於：産業展示館 7月20日～29日 ダーラム市訪問(7月23日～26日) 7月20日～29日 ダーラム市訪問(7月23日～26日) 9月20日～30日 ダーラム市訪問(9月24日～28日)

年 度	概 要	
平成 9 年度 (1997 年)	5 「富山市青年・女性の翼」の派遣 竹腰市民部長 一行 36 名 (青年 15, 女性 15) 6 「第 2 回ダーラム市医師」の来富 ヴァーン・ラニエ形成外科博士ご夫妻 一行 2 名 7 「第 6 回ダーラム市職員」の来富 ケンダル・アバナシー住宅部長 一行 2 名	10 月 16 日～26 日 ダーラム市訪問(10 月 16 日～20 日) 10 月 20 日～26 日 11 月 19 日～25 日
平成 10 年度 (1998 年)	1 「ダーラム市都市緑化視察団」の受入 メアリー・D. ジェイコブズ博士 一行 3 名 2 “ ’98 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に おいてダーラム市を紹介 (実行委員会等主催) 3 「第 1 回ダーラム市中中学生親善交流訪問団」の来富 マイケル・スループ教諭 一行 15 名 (内中学生 11 名) 4 「第 6 回富山市職員海外派遣研修」 佐近観光振興課長代理 一行 2 名 5 「第 2 回富山市医師」の派遣 三浦正義市民病院小児科部長 一行 2 名	5 月 20 日～25 日 6 月 19 日～21 日 於：産業展示館 6 月 22 日～29 日 10 月 4 日～14 日 ダーラム市訪問(10 月 6 日～10 日) 11 月 21 日～12 月 2 日 ダーラム市訪問(11 月 23 日～28 日)
平成 11 年度 (1999 年)	1 “ ’99 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に おいてダーラム市を紹介 (実行委員会等主催) 2 姉妹都市提携 10 周年記念「富山市親善訪問団」の 派遣 正橋市長、力示議長一行 10 名 3 「第 3 回富山市中学生親善訪問団」の派遣 服部邦紘堀川中学校校長 一行 24 名	7 月 2 日～4 日 於：産業展示館 8 月 2 日～11 日 ダーラム市訪問(8 月 4 日～7 日) 9 月 18 日～28 日 ダーラム市訪問(9 月～21 日～26 日)
平成 12 年度 (2000 年)	1 「ダーラム市親善訪問団」の受入 ニコラス・テニソン ダーラム市長 一行 8 名 2 「第 2 回ダーラム市中中学生親善訪問団」の来富 アンバー・クライン教諭 一行 25 名 (内中学生 20 名) 3 “ ’2000 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に おいてダーラム市を紹介 (実行委員会等主催) 4 「第 2 回富山市議会議員」の派遣 吉田富山市議会議員 一行 2 名	5 月 19 日～22 日 6 月 19 日～26 日 6 月 30 日～7 月 2 日 於：産業展示館 8 月 21 日～30 日 ダーラム市訪問(8 月 24 日～27 日)
平成 13 年度 (2001 年)	1 “ ’2001 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に おいてダーラム市を紹介 (実行委員会等主催) 2 「第 3 回ダーラム市医師」の受入 エービスアーチス産婦人科医師 1 名	6 月 29 日～7 月 1 日 於：産業展示館 11 月 18 日～22 日
平成 14 年度 (2002 年)	1 “ ’2002 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に おいてダーラム市を紹介 (実行委員会等主催) 2 「第 3 回ダーラム市中中学生親善訪問団」の来富 バーバラ・カノ先生 一行 18 名 3 世界の宝に集う一高校生国際サマースクール in 立山・黒部・有峰の開催 ダーラム市高校生の受入 マイケル・スミス高校生 1 名	6 月 28 日～30 日 於：産業展示館 6 月 17 日～24 日 8 月 13 日～18 日 北日本新聞社主催

年 度	概 要	
平成 14 年度 (2002 年)	4 「<u>第 7 回</u>富山市職員海外派遣研修」 埜田社会福祉課主幹一行 2 名 5 「<u>第 3 回</u>富山市医師」の派遣 草島義徳市民病院薬剤部主任部長 一行 2 名	10 月 5 日～14 日 ダーラム市訪問(10 月 7 日～10 日) 12 月 2 日～11 日 ダーラム市訪問(12 月 3 日～7 日)
平成 15 年度 (2003 年)	1 “2003 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に においてダーラム市を紹介(実行委員会等主催) 2 「ダーラム市デューク公園職員」の受入(1 回目) ポール・ジョーンズ園芸士 1 名 3 「<u>第 4 回</u>富山市中学生親善訪問団」の派遣 牧田好一奥田中学校校長一行 24 名(内中学生 19 名) 4 「<u>第 4 回</u>ダーラム市医師」の受入 デューク大学医療センター医師 トーマス・スポン博士 1 名	6 月 27 日～29 日 於：産業展示館 9 月 19 日～24 日 9 月 20 日～30 日 ダーラム市訪問(9 月 23 日～29 日) 10 月 26 日～30 日
平成 16 年度 (2004 年)	1 「<u>第 4 回</u>ダーラム市中中学生親善訪問団」の来富 ブラウン・カブリエル先生 一行 24 名(内生徒 19 名) 2 「ダーラム市建築家」の受入 ドレック・ジョンズ 1 名 3 “2004 とやま国際フェア世界の観光と物産展” に においてダーラム市を紹介(実行委員会等主催) 4 「<u>第 3 回</u>富山市議会議員」の派遣 高森富山市議会議員 一行 2 名 5 「<u>第 2 回</u>ダーラム市議会議員」の受入 ユージーン・ブラウン市議員 一行 3 名 6 「<u>第 4 回</u>富山市医師」の派遣 岡部敬市民病院新生児治療科部長 一行 2 名 7 「ダーラム市富山姉妹都市パビリオン建設支援」 富山市・市民国際交流協会等 2,751 千円送金	6 月 15 日～21 日 6 月 23 日 7 月 2 日～4 日 8 月 22 日～9 月 1 日 ダーラム市訪問(8 月 25 日～29 日) 10 月 26 日～29 日 10 月 23 日～11 月 3 日 ダーラム市訪問(10 月 25 日～30 日) H17.2.10
平成 18 年度 (2006 年)	1 「<u>第 7 回</u>ダーラム市職員」の受入 フランク・M・デューク計画部長 1 名 2 「ダーラム市富山姉妹都市パビリオン建設支援」 富山市・市民国際交流協会等 454 千円送金 2 回目 3 「<u>第 5 回</u>富山市中学生ダーラム市・カルーゾ市(カナダ) 親善訪問団」の派遣 森本清隆上滝中学校校長 一行 27 名(内生徒 22 名)	5 月 23 日～27 日 8 月 22 日 10 月 5 日～14 日 ダーラム市訪問(10 月 10 日～13 日)
平成 19 年度 (2007 年)	1 「<u>第 5 回</u>ダーラム市中中学生親善訪問団」の来富 ジョアン・ホルジョーザー中学校指導員 一行 25 名 2 「富山市親善訪問団・<u>第 2 回</u>富山市民国際交流協会 親善訪問団」の派遣 森市長市職員一行 4 名、国際交流協会会員 一行 14 名 (病院調印式・パビリオン竣工式典に出席のため)	6 月 19 日～25 日 10 月 7 日～15 日 ダーラム市訪問(10 月 9 日～12 日)
平成 20 年度 (2008 年)	1 「<u>第 3 回</u>ダーラム市議員」の受入 マイケル ウッダード議員ご夫妻	7 月 7 日～10 日

年 度	概 要	
平成 21 年度 (2009 年)	1 「 <u>第 5 回</u> ダーラム市医師」の受入 サミュエル・ウォーバートン デューク大学医学部 家庭医学教室主任教授ご夫妻 2 「富山市造園専門家」の派遣（1 回目） 中曽根造園社長 1 名 3 「 <u>第 4 回</u> 富山市議会議員」の派遣 高森富山市議会議員 一行 2 名 4 「 <u>第 1 回</u> 富山市民病院研修医」の派遣 富士井杏子富山市民病院研修医 1 名	4 月 13 日～17 日 9 月 7 日～24 日 10 月 19 日～26 日 ダーラム市訪問(10 月 20 日～22 日) 10 月 23 日～11 月 23 日 ダーラム市訪問(10 月 25 日～11 月 19 日)
平成 22 年度 (2010 年)	1 「 <u>第 6 回</u> 富山市中学生親善訪問団」の派遣 木本秀樹呉羽中学校長 一行 19 名（内中学生 15 名） 2 「ダーラムデューク公園職員」の受入（2 回目） ポール・ジョーンズデューク公園管理者 一行 3 名	9 月 21 日～28 日 ダーラム市訪問(9 月 22 日～25 日) 9 月 29 日～10 月 5 日
平成 23 年度 (2011 年)	1 ダーラム姉妹都市委員会などからの募金 ニュージーランド地震による富山外国専門学校被災者へ （募金額 79,880 円） 2 「 <u>第 6 回</u> ダーラム市医師」の受入 サラ・ホッジス Dr ご夫妻(開業医) 3 「 <u>第 2 回</u> 富山市民病院研修医」の派遣 竹中哲市民病院研修医 一行 2 名	5 月 30 日 10 月 3 日～6 日 10 月 30 日～11 月 5 日
平成 24 年度 (2012 年)	1 「 <u>第 6 回</u> ダーラム市中学生親善交流訪問団」の受入 スコット・ヒル 一行 25 名(内生徒 18 名、引率 7 名) 「児童合唱団」 2 「 <u>第 3 回</u> 富山市民病院医師等」の派遣 山本宏樹病院医師 1 名、研修医 2 名「内医師 10 日まで」 3 「富山市造園専門家」の派遣（2 回目） 中曽根造園社長 1 名 4 「富山外国語専門学校」海外研修事業（1 回目） 外国語専門学校学生 一行 34 名「内引率 2 名」	7 月 5 日～8 日 11 月 4 日～17 日 11 月 23 日～12 月 11 日 H25 年 2 月 23 日～3 月 10 日
平成 25 年度 (2013 年)	1 「富山城・八尾おわら等の模様入キルト」の寄贈 製作者：中川千代キルト教室先生 2 「 <u>第 4 回</u> 富山市民病院研修医」の派遣 堀大介研修医 一行 3 名 3 「富山外国語専門学校」海外研修事業（2 回目） 外国語専門学校学生 一行 22 名「内引率 2 名」	9 月 20 日発送 9 月 14 日～29 日 H26 年 2 月 22 日～3 月 16 日
平成 26 年度 (2014 年)	1 「富山市民病院医師」の派遣（研修医派遣協議） 石田市民病院長 一行 2 名 2 「富山外国語専門学校」海外研修事業（3 回目） 外国語専門学校学生 一行 20 名「内引率 2 名」	11 月 6 日～8 日 H27 年 2 月 21 日 ～3 月 15 日 ダーラム市訪問(2 月 21 日～3 月 11 日)

年 度	概 要	
平成 27 年度 (2015 年)	1 「第 7 回ダーラム市医師」の受入 シャロン・ハルデューク大学医師 一行 2 名 2 「富山外国語専門学校」海外研修事業（4 回目） 外国語専門学校学生 一行 20 名「内引率 2 名」	6 月 21 日～25 日 H28 年 2 月 27 日～ 3 月 17 日 ダーラム市訪問(2月27日～3月16日)
平成 28 年度 (2016 年)	1 「第 4 回ダーラム市高校生訪問団」の受入 マサイアス スー引率 一行 17 名(内高校生 15 名) 2 「ダーラム市ジャパンウィーク誘致支援事業」 ランゾウ政策参与 一行 2 名 3 「第 5 回富山市民病院研修医」の派遣 澤口市民病院副院長・研修医 一行 4 名(内研修医 2 名) 4 「富山外国語専門学校」海外研修事業（5 回目） 外国語専門学校学生 一行 22 名「内引率 2 名」	7 月 17 日～24 日 11 月 16 日～24 日 ダーラム市訪問(11月17日～19日) H29 年 3 月 19 日～26 日 ダーラム市研修(3月20日～24日) H29 年 2 月 25 日～ 3 月 16 日 ダーラム市訪問(2月26日～3月15日)
平成 29 年度 (2017 年)	1 「富山外国語専門学校」海外研修事業（6 回目） 外国語専門学校学生 一行 16 名「内引率 2 名」	H30 年 2 月 24 日～ 3 月 15 日 ダーラム市訪問(2月25日～3月14日)
平成 30 年度 (2018 年)	1 「富山外国語専門学校」海外研修事業（7 回目） 外国語専門学校学生 一行 21 名「内引率 2 名」	H31 年 2 月 23 日～ 3 月 14 日 ダーラム市訪問(2月24日～3月13日)
令和元年度 (2019 年)	1 「第 5 回ダーラム市高校生訪問団」の受入 ケネス イートン 一行 16 名(内高校生 14 名) 2 「富山外国語専門学校」海外研修事業（8 回目） 外国語専門学校学生 一行 16 名（内引率 2 名）	7 月 14 日～21 日 令和 2 年 2 月 23 日～ 3 月 13 日 ダーラム市訪問(2月24日～3月12日)
令和 4 年度 (2022 年)	1 オンライン海外研修旅行 ※学生向けには「TCFL Virtual Study Trip」と案内 外国語専門学校生 13 名 ※交流相手は、ダーラム市のダーラム・テクニカル・コミュニ ティ・カレッジ（DTCC）の学生及びホストファミリー	R 5 年 2 月 27 日～ 3 月 6 日 ※土日除く 6 日間
令和 5 年度 (2023 年)	1 「富山外国語専門学校」海外研修事業（9 回目） 外国語専門学校学生 一行 17 名（内引率 2 名） 2 ダーラム姉妹都市委員とのオンラインミーティング ダーラム市：クリス・ボイヤー姉妹都市委員会委員長、 天満 友紀 姉妹都市委員会委員 富山市：文化国際課 3 名、国際交流センター所長 富山市民国際交流協会職員 2 名 姉妹都市委員、国際教養委員 4 名	R 6 年 2 月 23 日～ 3 月 14 日 ダーラム市訪問(2月24日～3月13日) R 6 年 3 月 14 日

データの位置



ダボ・リージョナル・カウンスル（オーストラリア） （旧ウエリントンカウンスル）

1. 提携年月日 1992（平成4）年8月24日
（姉妹都市提携調印の日 継承）

2. 大沢野町とウエリントンカウンスルとの提携経過

第3回大沢野町少年少女海外派遣事業におけるホームステイの受入先となったのがウエリントンシャイヤーであり、平成2年8月に少年少女海外派遣団がウエリントンシャイヤー（役場）を訪問した際に、姉妹都市の提携が話題となったのがきっかけである。

平成3年1月にウエリントン評議会議員との交流のため、大沢野町議会議員団が訪問。同年8月、翌年の平成4年8月にも少年少女海外派遣団が訪問した。

この間、大沢野町がジャパンエキスポ富山92'の「世界のなかま館」に出展するため、ウエリントンシャイヤーの資料の提供、ビデオの撮影等の協力を依頼するとともに、交流の促進を図るため、大沢野町への来町を依頼。平成4年8月24日、ジャパンエキスポ富山92'の市町村の日（旧大沢野町の日）に姉妹都市の調印式を行った。

3. 双方の合併の経緯

（1）旧大沢野町の合併

平成17年4月に、大沢野町と富山市を含む1市4町2村による市町村合併により新しく「富山市」が誕生する運びとなり、富山地域合併協議会による協議を経て平成16年10月9日に調印された合併協定書において、「姉妹都市及び友好都市については、新市に引き継ぐ」ことが確認されたことから、ウエリントンカウンスルに対し、新市誕生以降も姉妹都市を継続する意向を書面により連絡し、双方において確認した。なお、合併による自動継続のため、改めて富山市とウエリントンカウンスルとの間での盟約書の取り交わしは行っていない。

（2）旧ウエリントンカウンスルの合併

平成28年5月12日に、ニューサウスウェールズ州の主導により、ウエリントンカウンスルが隣接するダボ市と合併し、「ウエスタン・プレーンズ・リージョナル・カウンスル」が誕生した。両カウンスルの議会は解散し、平成29年9月に実施される同州内の議員統一選挙までは同州が任命した職務代理者が暫定的に従来の行政サービスを継続することになった。

姉妹都市関係については、同カウンスルの姉妹都市交流担当から、議員及び市長が選出されるまでの間、旧ウエリントンは富山市と、旧ダボ市は岐阜県美濃加茂市と、それぞれ姉妹都市関係を継続しながら、「姉妹都市諮問委員会」において協議をしていきたい旨の連絡があり、美濃加茂市と歩調を合わせて状況を見守ることになった。なお、民意を反映し、平成28年9月7日に名称を「ダボ・リージョナル・カウンスル」に変更した。

平成29年11月に富山市長が日豪ガラス作家相互交流事業の答礼訪問に合わせて、ダボを表敬訪問することについて、ダボ・リージョナル・カウンスル側が快諾し、平成29年5月以降、準備を進めた。

平成29年9月9日の統一選挙において、議員10名（ダボ4地区 各2名、ウエリントン地区2名 計10名）が選出され、同月28日に議員の互選により、ベン・シールズ議員が初代市長に就任したことで、執行体制が確立し、ダボ・リージョナル・カウンスル側において、富山市との姉妹都市交流を継続する旨の意向を確認した。

なお、相手方の合併による自動継続のため、改めて富山市とダボ・リージョナル・カウンスルとの間での盟約書の取り交わしは行っていない。

4. ダボ・リージョナル・カウンスルの概要

（1）沿革

ダボ・リージョナル・カウンスルは、オーストラリア連邦・ニューサウスウェールズ州の中西部オラナ地区にある、人口が約52,000人、面積が7,536km²の地方行政区を管轄の行政を担う地方自治体である。ミッシュェル、ニューウェルとゴールデンの3つの幹線道路が交わり、ニューサウスウェールズ州各地域への貨物輸送の中心となっている地域でもある。

また、中心街から比較的近いダボシティ空港では、シドニーやメルボルン、ニューカッスル、ブリスベン等への国内線が週200便近く運航されており、また、シドニー・セントラル駅とダボ駅との間で長距離バスサービスが提供されているなど、豪州国内の主要な都市へのアクセスも良好である。

ダボ・リージョナル・カウンスルは、ニューサウスウェールズ州主導のもと、旧ウエリントンカウンスルと旧ダボ市との合併により、2016年5月12日に誕生した。

ウエリントン地域は、1817年8月に探検家ジョン・オックスレイがこの地域を発見し、「ウエリントンバレー」と名付けたことにその名の由来があり、その後、この谷に移住者が増え始め、1823年にマッコリー川とベル川の交差する地点にウエリントンの町が誕生し、以降、1949年にはウエリントンシャイアに、1993年からはウエリントンカウンスルに名称を変更した。

また、ダボ地域も、同じくオックスレイが発見し、最初の入植者であるロバード・ダランティにより「ダボ」（先住民の言葉で「赤い大地」が起源とされる）と名付けられた。大規模な牧羊が行われ、ジョン・モームが建てた「ダンダリマルの邸宅」はその当時の建造物として一般公開されている。1840年には複数の入植者が定住し、植民地政府により裁判所と警察署等が設置された。1849年には村に指定され、1881年にはウエリントンとの間で、1925年にはモロングとの間で鉄道が開通するなどのインフラ整備が進み、人口も安定的に増加し、1966年からダボ市として市政を敷いた。

（２）位置・気候

ダボ・リージョナル・カウンシルは、オーストラリア大陸の南東部、ニューサウスウェールズ州（州都：シドニー）中西部のオラナ地区にあり、海拔は275m、ニューサウスウェールズ州の州都シドニーから内陸北西方向に約400kmの位置している。平均気温は夏期で最高32度、最低16度、冬期で最高16度、最低4度である。ニューサウスウェールズ州近辺は温帯性気候であり、日本とは逆の四季をもっている。時差は日本より1時間早い。

（３）産業・経済

ダボ・リージョナル・カウンシルでは、農業・牧畜業が主な収入源になっている。小麦、綿花などが栽培される一方、羊や牛の放牧が盛んである。

畜牛は肉にされ、羊はウールや肉に利用される。馬は、この地区の家畜の重要な位置を占めていて、そのなかには純血種、家畜馬、ポニーなどがいる。

また、観光事業もこの地区の経済のなかで重要な位置を占めている。主な観光地には、鍾乳洞や動物園及びビクトリア公園などがある。

また、買い物客が集まってくる大きなスーパーマーケットなどがあるなど、ニューサウスウェールズ州の中西部の中核的な都

特にダボ地域ある、世界中の動物を集めた300haのウエスタン・プレーンズ動物園は、オーストラリアから多くの観光客が訪れている。

また、ウエリントン地域の鍾乳洞は自然観光地で、その一帯は、主なキャンプのできる3ヶ所の公園の複合施設として発達している。近辺には時計博物館、ボトルハウス、クラフトショップなども設置され、鍾乳洞には年に約数万人の人たちが訪れる。

バレンドン川周辺は、水をベースとする活動（水泳、水上スキー、釣り等）で多くの人々を引きつけている。バレンドン植物園は、オーストラリアの植物の収集をしており、自然植物に興味を持つ人々が多く訪れている。

姉妹都市の寄贈等により、ウエリントン地域には富山市大沢野日本庭園が、ダボ地域には逍遙園姉妹都市ガーデンがそれぞれ整備されており、人気の観光スポットになっている。

（４）教育

ダボ地域では、ニューサウスウェールズ州に複数のキャンパスを持つチャールズ・スタート大学（公立）の児童教育学部や看護学部等があるほか、シドニー大学農村保健部といった高等教育機関がある。小中高一貫校として、１９８３年創立で５７０人以上の生徒がいるダボ・クリスチャン・スクール等の私立校が２校と公立の通信制校が１校ある。その他、中高一貫が１校、公立高校が１校、公立中学が２校、小学校が公私合わせて１３校ある。

また、他のシャイアを含めて周辺地域に分館を持つマッコリー・リージョナル図書館の本館や、ギャラリーと博物館、コミュニティアートセンターで構成されるダボ・ウエスタン・プレーン文化センターがある。

ウエリントン地域には、１９５６年に創立したウエリントン・ハイスクール（中高一貫）がある。学生数は約６００人でさまざまなスポーツと特別教科課程に力を入れている。私立では、１９５３年創立で６００人以上の生徒がいるセントメアリー・カトリック・スクール（小・中一貫）がある。小学校は、１８８１年創立のウエリントン校などの公立小学校が６校、私立ではウエリントン・クリスチャン校がある。その他、幼稚園が３校、職業訓練の専門学校が１校ある。

(5) 行政

オーストラリアの政府構造は、連邦、州、地方自治体の三層制であり、州政府は地方自治体に対して強い権限（議会解散や合併など）をもっている。地方自治体の権限は非常に限られており、地方道の整備やごみ収集等の衛生業務、レクリエーション施設の運営や児童福祉等のコミュニティ・サービス等を所管し、警察や消防、公立学校や病院設置等は州政府が所管する。

議員の任期は4年であり、市長は議長として、副市長は副議長として互選により議員の中から選ばれる。任期はそれぞれ2年。

市長・副市長各1名を含め、市議会議員は10名である。

・市長（議長：非常勤）（2024年10月3日就任）

ジョシュ・ブラック

Josh Black

・副市長（副議長：非常勤）

フィリップ・トイントン

Phillip Toynton

★ ダボ・リージョナル・
カウンスル
(ニューサウスウェールズ州)

他の姉妹都市：

美濃加茂市（日本） 1989.6
蘇州市呉江区（中国） 1995.6

位 置	：東経 148 度、南緯 32 度	大 学	：2 校
人 口	：約 52,000 人	小中高一貫校	：3 校（通信制 1 校含む）
面 積	：7,536 km ²	中高一貫校	：2 校
海 抜	：275m	小中一貫校	：1 校
年間平均降水量	：639mm	高等学校	：1 校
夏期平均気温	：最高 32℃－最低 15℃	中学校	：2 校
冬期平均気温	：最高 16℃－最低 3℃	小学校	：19 校
		幼稚園	：6 校
		専門学校	：3 校
		図書館	：2 箇所

5. 盟約書

日本国富山県大沢野町とオーストラリアニューサウスウェールズ州ウエリントンシャイヤーは、相互理解と友好親善を増進するとともに、相互交流を通じ日本国とオーストラリアとの親善を促進することを願い、ここに姉妹都市関係を正式に締結することを決定した。

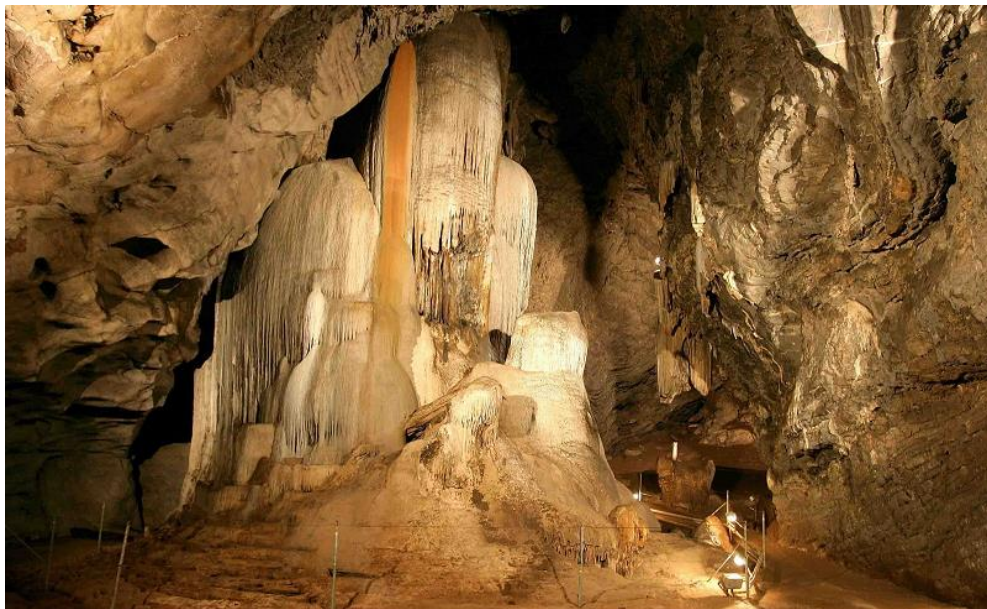
双方は、この姉妹都市の締結を新たな出発点として、教育、文化、経済等の各分野において広範な交流と協力を行うものとする。

姉妹都市の締結は、日本国富山県大沢野町とオーストラリアニューサウスウェールズ州ウエリントンシャイヤーとの変わらざる友情の証である。

この盟約書は、双方の長が署名した日から効力を生ずるものとする。

この盟約書は、双方の長が署名のうえ、各1通を相互に保有する。

ダボ・リージョナル・カウンシル鍾乳洞



6. ダボ・リージョナル・カウンスルとの姉妹都市交流事業経過

年 度	概 要	
昭和 63 年度 (1988 年)	1 「第 1 回少年少女海外派遣団」の派遣 オーストラリア（ゴールドバン：NSW 州）ほか訪問 一行 16 名(内生徒 13 名)	8 月 13 日～22 日
平成元年度 (1989 年)	1 「第 2 回少年少女海外派遣団」の派遣 ニュージーランド（オークランド）・メルボルンほか訪問 一行 21 名(内生徒 17 名)	8 月 15 日～24 日
平成 2 年度 (1990 年)	1 「第 3 回少年少女海外派遣団」の派遣（第 1 回） ホームステイ ウェリントンシャイヤー訪問 一行 21 名(内生徒 17 名) 2 「大沢野町議会議員団」の派遣 ウェリントンシャイヤー訪問 一行 12 名（内議員 10 名、随員職員 2 名）	8 月 13 日～22 日 H3 年 1 月 16 日～22 日
平成 3 年度 (1991 年)	1 「第 4 回少年少女海外派遣団」の派遣（第 2 回） ホームステイ ウェリントンシャイヤー訪問 一行 20 名(内生徒 16 名)	8 月 15 日～24 日
平成 4 年度 (1992 年)	1 「第 5 回少年少女海外派遣団」の派遣（第 3 回） ホームステイ ウェリントンシャイヤー訪問 一行 20 名(内生徒 16 名) 2 ウェリントン代表団が大沢野町を訪問及び姉妹 都市提携調印式	8 月 6 日～24 日 8 月 24 日 於：大沢野町生涯学習 センター
平成 5 年度 (1993 年)	1 「第 6 回少年少女海外派遣団」の派遣（第 4 回） ホームステイ ウェリントンシャイヤー訪問 一行 20 名(内生徒 16 名) 2 「町長、議長訪問団」の派遣 3 「ウェリントンハイスクールの代表団」の受入 大沢野町でホームステイ 一行 42 人(内生徒 19 名、市民 23 名) ウェリントンシャイヤーからウェリントンカウンスルへ 名称変更	8 月 3 日～13 日 8 月 4 日～8 日 9 月 24 日～29 日
平成 6 年度 (1994 年)	1 「第 7 回少年少女海外派遣団」の派遣（第 5 回） ホームステイ ウェリントンカウンスル訪問 一行 20 名(内生徒 16 名) 2 「第 1 回大沢野町民海外派遣団」の派遣 ウェリントンカウンスル訪問一行 19 名（町民 18 名、付添 1 名） 3 町制施行 40 周年記念式典のため「オブナー町長 夫妻」一行の来町	8 月 17 日～27 日 10 月 5 日～11 日 11 月 1 日 於：町民文化会館

年 度	概 要	
平成 7 年度 (1995 年)	1 「第 8 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 6 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 20 名(内生徒 16 名)	8 月 2 日～13 日
平成 8 年度 (1996 年)	1 「第 9 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 7 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 23 名(内生徒 18 名)	7 月 30 日～8 月 10 日
平成 9 年度 (1997 年)	1 「大沢野町議員海外行政視察団」の派遣 市長と庭園建設計画について意見交換 一行 14 名(議員 12 名、随員職員 2 名)	5 月 18 日～23 日
	2 「第 10 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 8 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 22 名(内生徒 18 名)	7 月 28 日～8 月 8 日
	3 「第 2 回大沢野町民海外派遣団」の派遣 庭園の具体的な設計等について協議 一行 16 名 (町民 14 名、付添 2 名)	10 月 1 日～7 日
平成 10 年度 (1998 年)	1 「第 11 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 9 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 22 名(内生徒 18 名)	7 月 27 日～8 月 7 日
平成 11 年度 (1999 年)	1 「第 12 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 10 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 24 名(内生徒 20 名)	7 月 26 日～8 月 6 日
	2 「ニューサウスウェールズ州議員訪問団」の受入 大沢野町を訪問	10 月
	3 ウェリントンに大沢野庭園開園 町長、議長、監査委員、企画情報課長が開園セレモニー に出席(大沢野から 2,000 万円相当を寄贈)	11 月 21 日
平成 12 年度 (2000 年)	1 「庭園を管理する市職員、デニス夫妻」が来町	4 月 6 日～11 日
	2 「第 13 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 11 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問一行 20 名(内生徒 16 名)	7 月 24 日～8 月 4 日
	3 大沢野町出身の荒瀬洋太君がシドニーオリンピック に出場 町からチケットを送り、ウェリントンカウンシルの 議員ら 5 人が会場で応援	9 月
平成 13 年度 (2001 年)	1 「第 14 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 12 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 22 名(内生徒 18 名)	7 月 23 日～8 月 3 日
	2 「第 3 回大沢野町民海外派遣団」の派遣 一行 17 名(町民 15 名、付添 2 名)	10 月 1 日～7 日

年 度	概 要	
平成 14 年度 (2002 年)	1 「第 1 5 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 1 3 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 20 名 (内生徒 16 名)	7 月 31 日～8 月 11 日
平成 16 年度 (2004 年)	1 「第 1 6 回青少年少女海外派遣団」の派遣 (第 1 4 回) ホームステイ ウェリントンカウンシル訪問 一行 35 名 (内生徒 29 名) 2 町制 50 周年記念式典のため「ノールス市長夫妻等」 一行来町	7 月 28 日～8 月 8 日 11 月 1 日 於：町民文化会館
平成 19 年度 (2007 年)	1 「富山市中学生親善訪問団」の派遣 上滝志津子東部中学校長一行 2 6 名 (内生徒 21 名)	8 月 3 日～11 日
平成 24 年度 (2012 年)	1 姉妹都市提携 20 周年記念「富山市親善訪問団」 の派遣(クライストチャーチ慰問訪問及びキャンベ ラ視察を含む) 老月副市長 一行 6 名 (内議員 2 名) 2 姉妹都市提携 20 周年記念「富山市民親善訪問団」 の派遣 梅澤信義富山市民国際交流協会一行 30 名	7 月 24 日～31 日 9 月 21 日～28 日
平成 28 年度 (2016 年)	ダボシティと合併、ダボ・リージョナル・カウンシル 新市が誕生	5 月
平成 29 年度 (2017 年)	1 「豪州富山市親善訪問団」の派遣 森市長一行 3 名	11 月 8 日～12 日 ダボ訪問 (11 月 9 日～10 日)
平成 30 年度 (2018 年)	1 「ダボ・リージョナル・カウンシル市親善訪問団」の 受入 ベン・シールズ ダボ市長一行 8 名	5 月 16 日～18 日

ダボ・リージョナル・カウンシルの位置

